



R-18

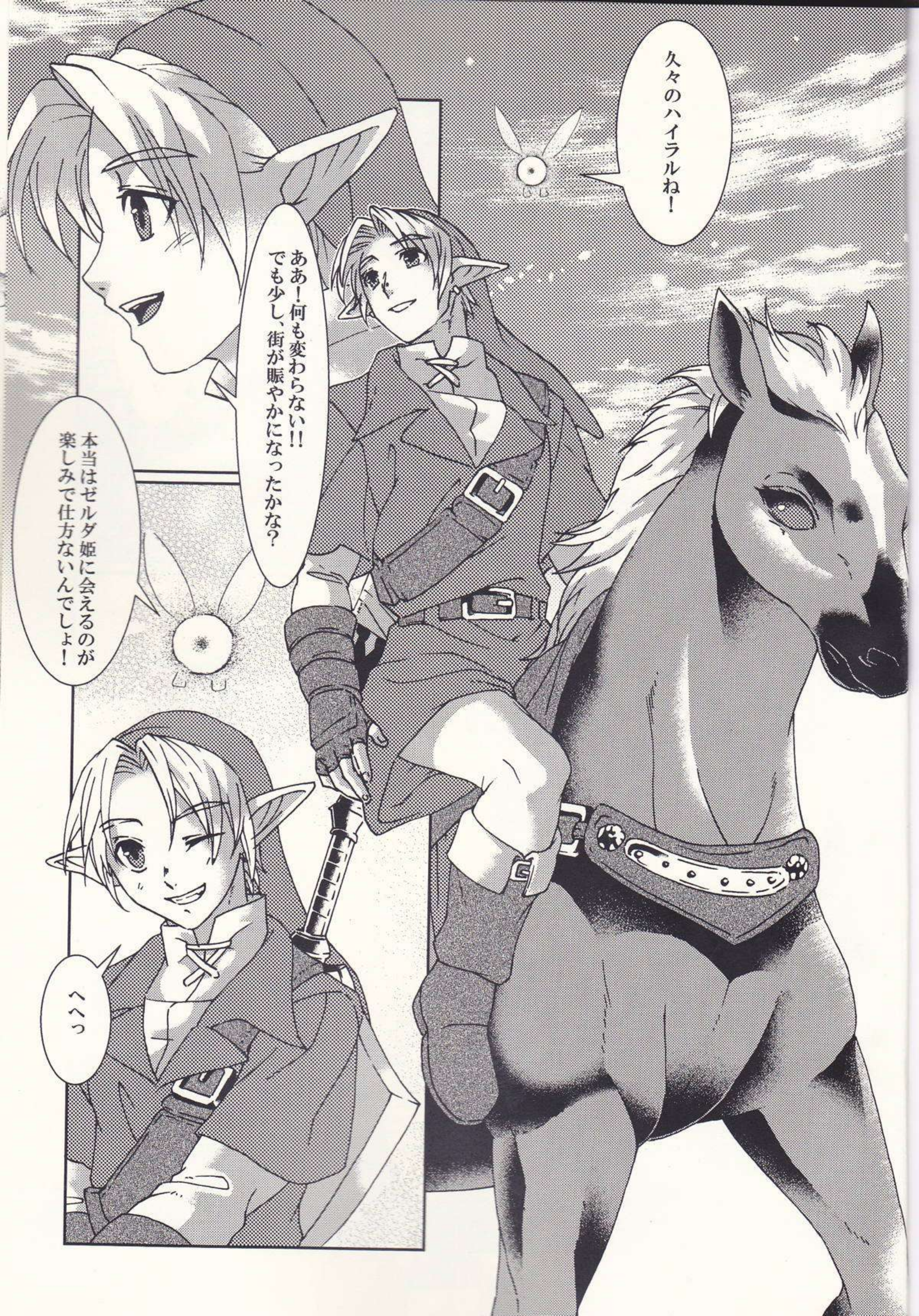
Sadalmelek

久々のハイラルね！

ああ！何も変わらない！！
でも少し、街が賑やかになったかな？

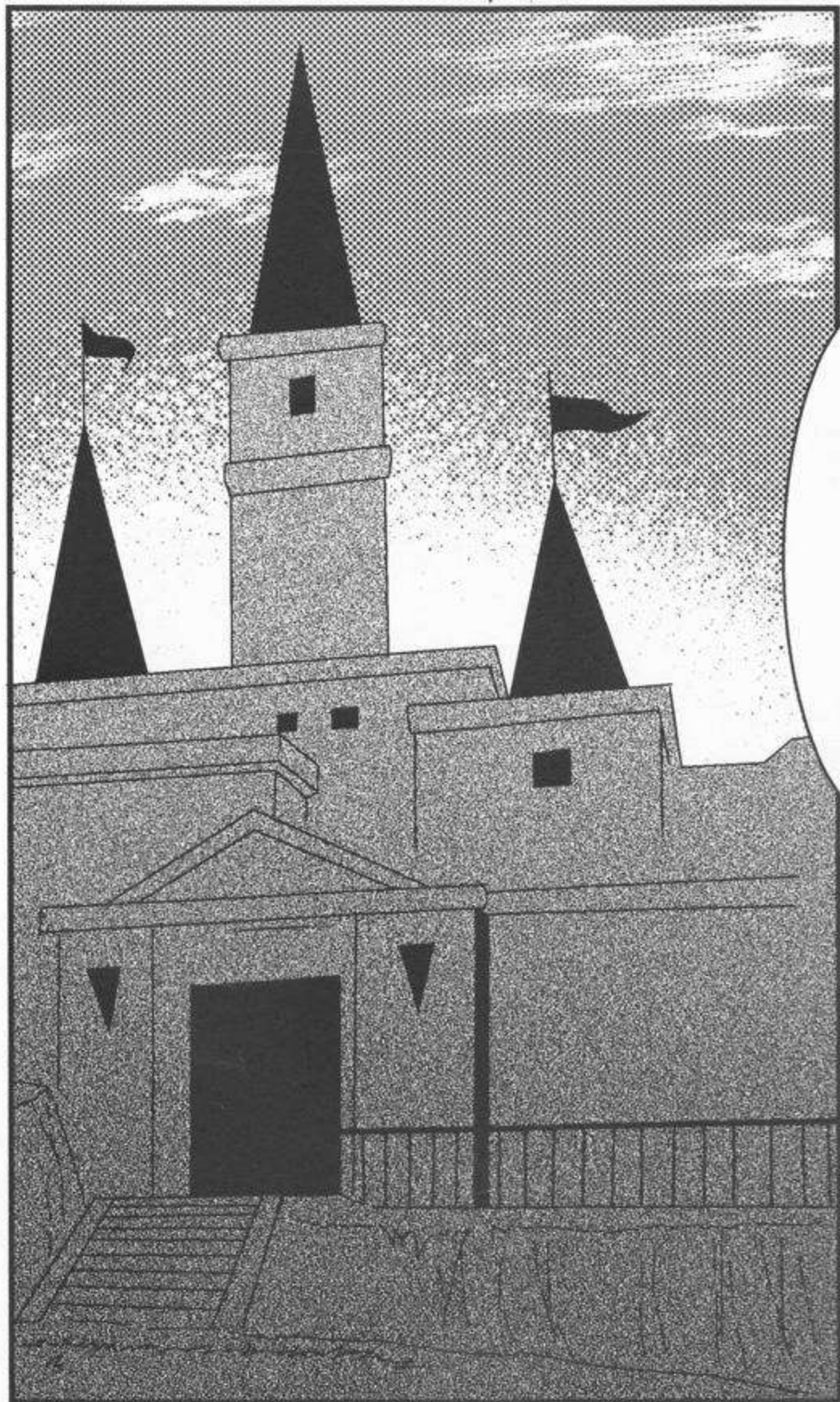
本当はゼルダ姫に会えるのが
楽しみで仕方ないんですよ！

^^^

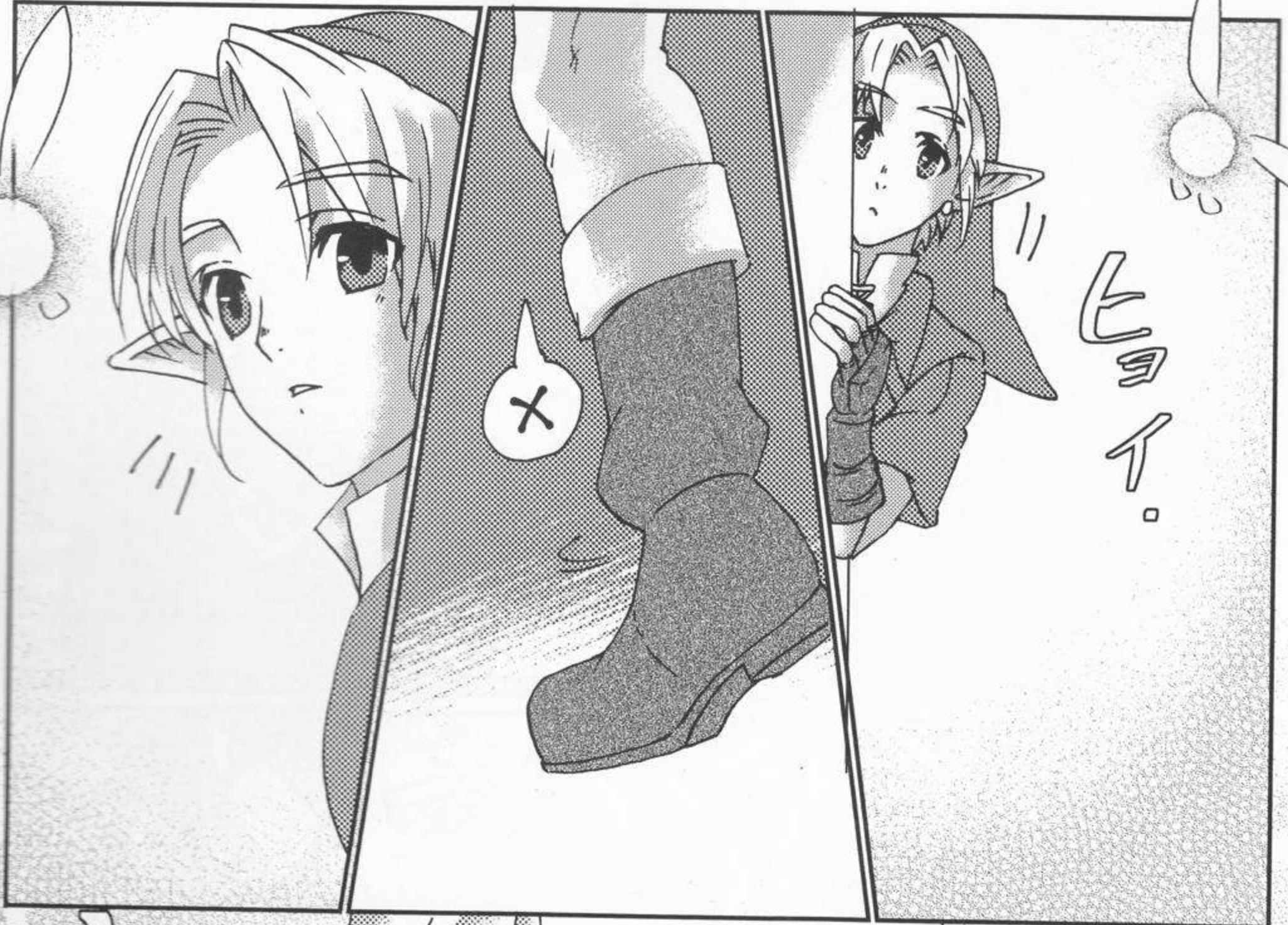


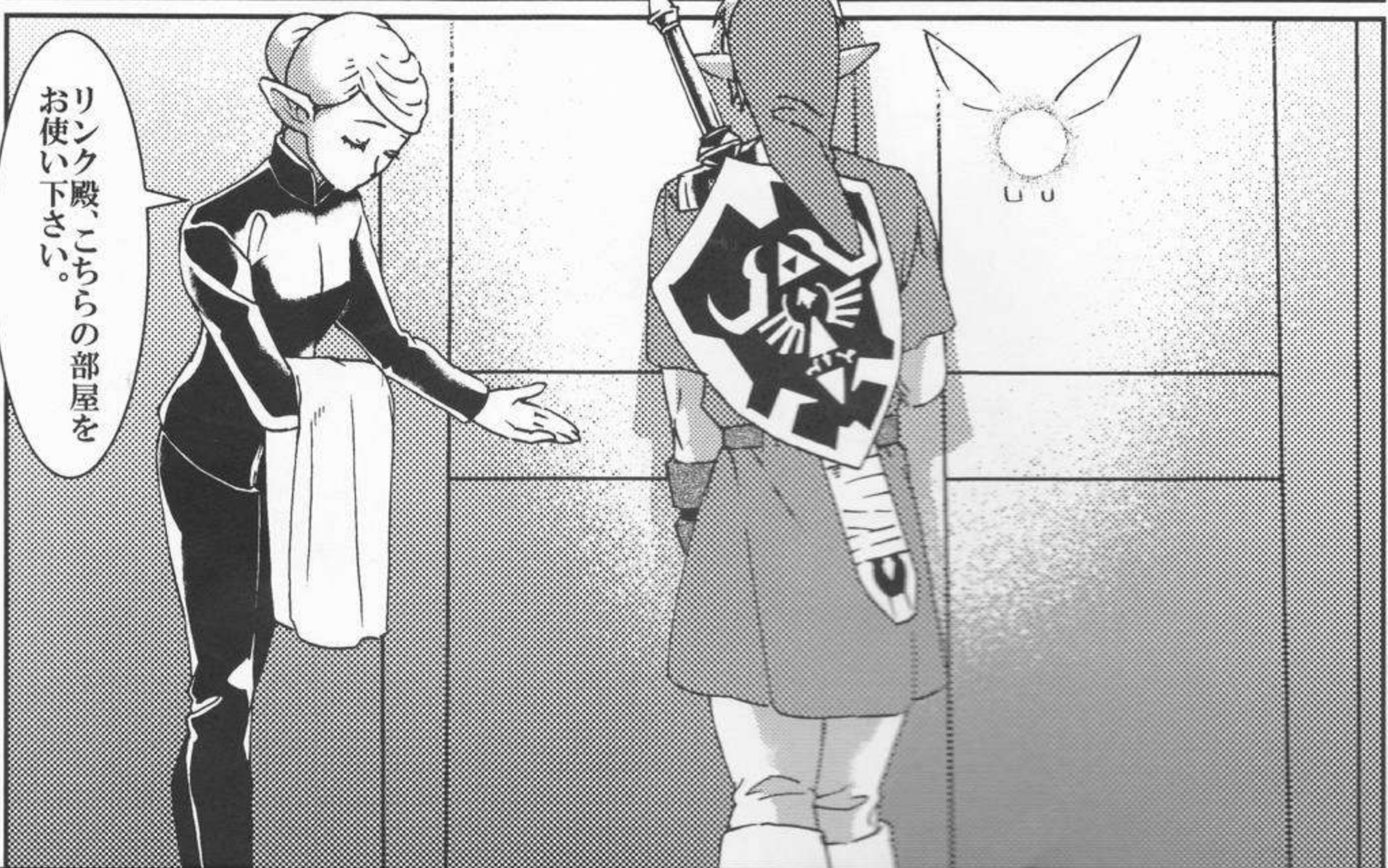
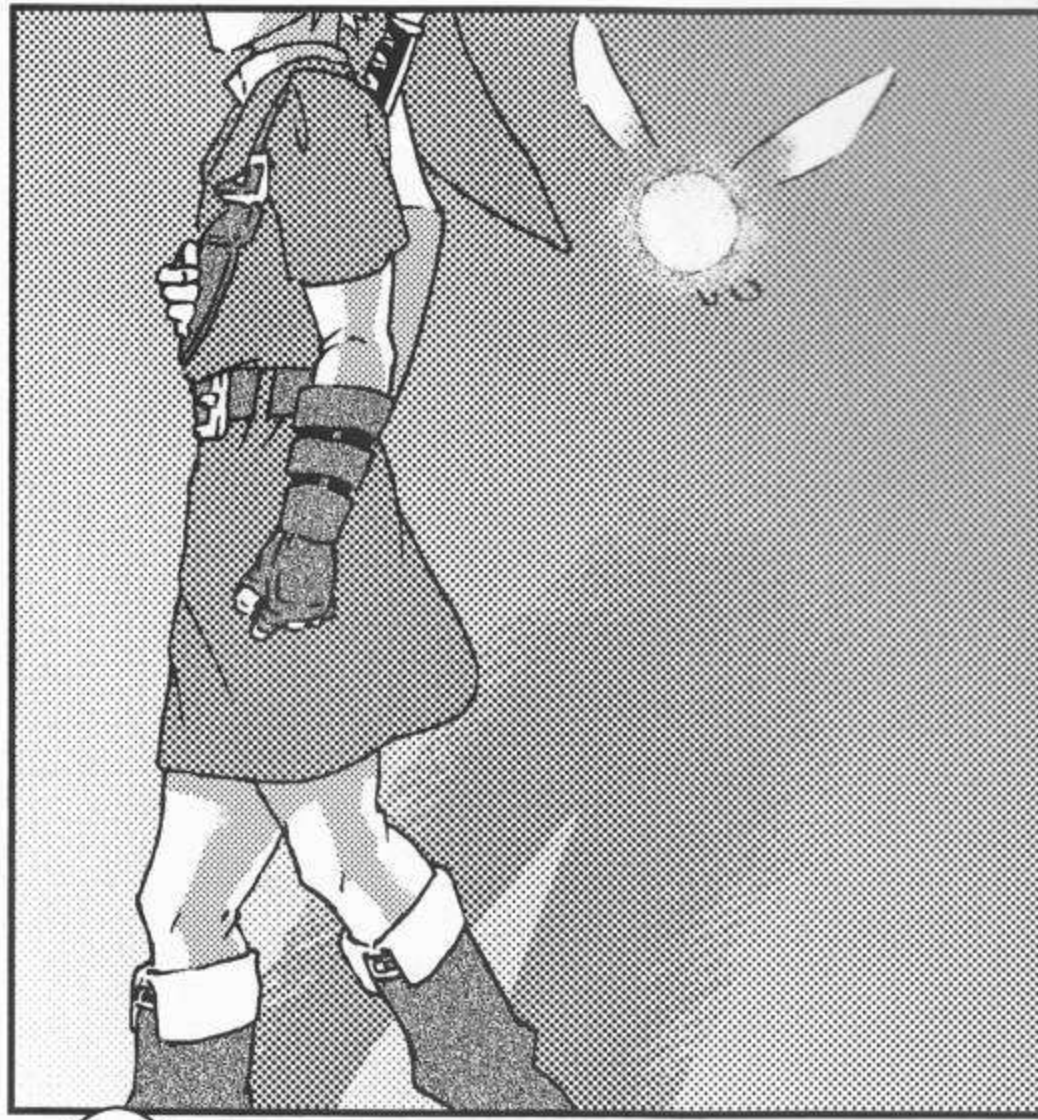


元気にしてるかな？



大丈夫。きっと元気だよ。





仕方ないさ、それに今日だけしか
会えない訳じゃないし。

邪魔しちや悪いか...

良いの？

リンク殿、こちらの部屋を
お使い下さい。



懐かしいな!

中庭に忍び込んでた頃と随分違った待遇ね!

なあんっ



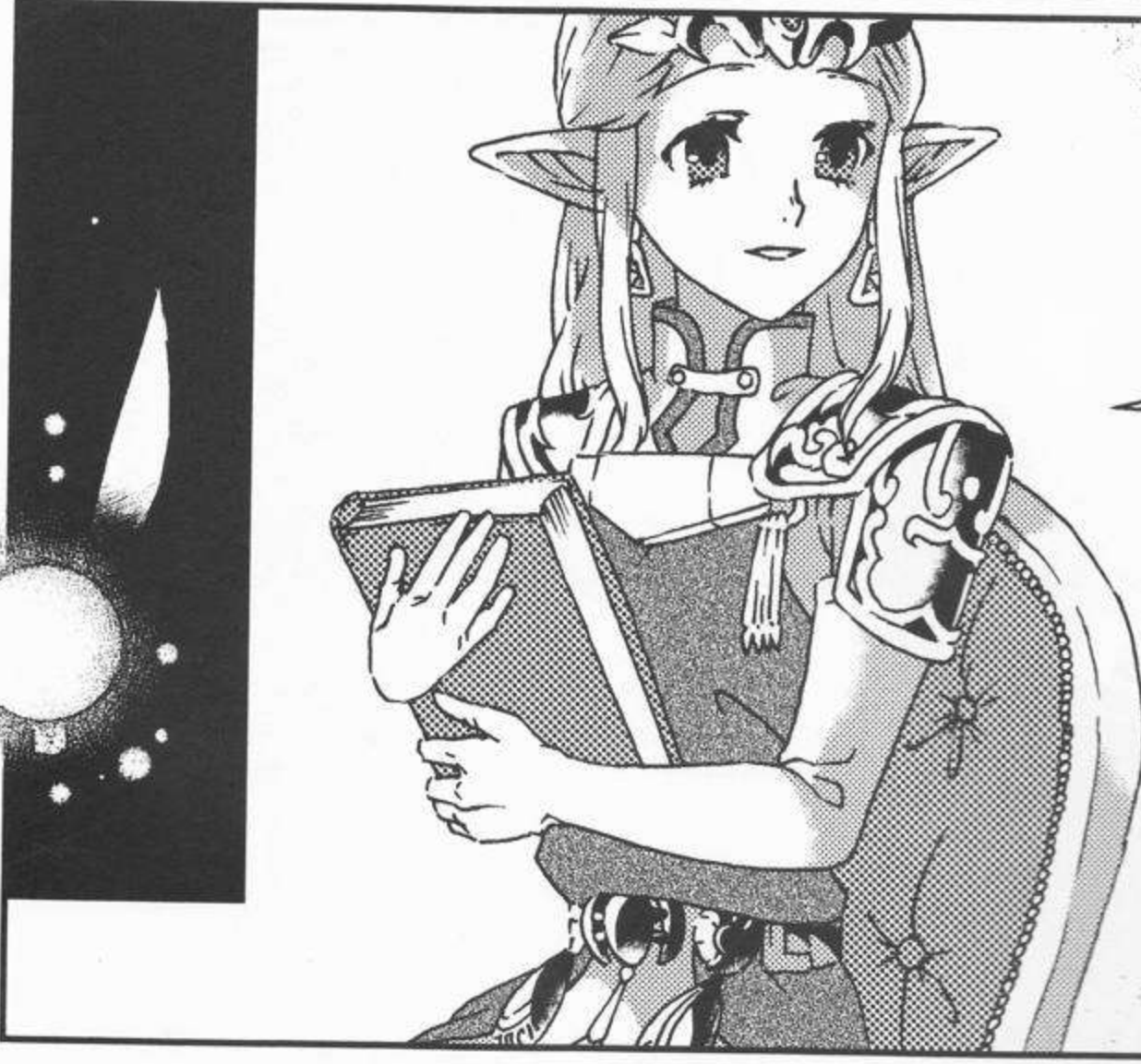
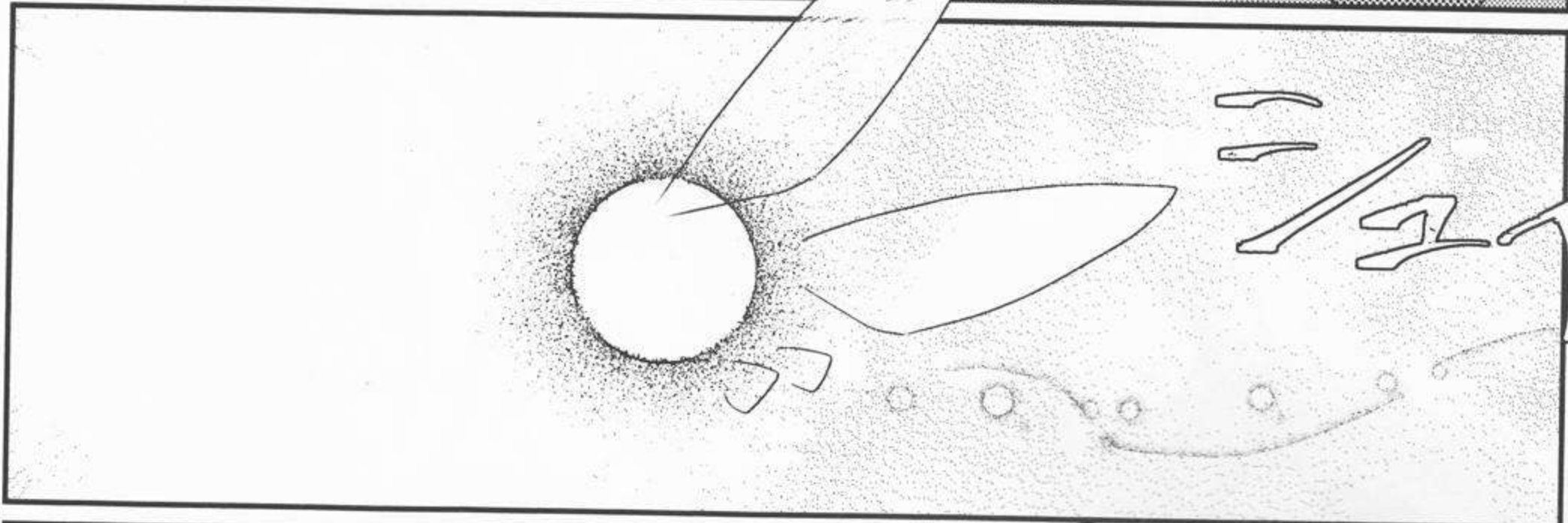
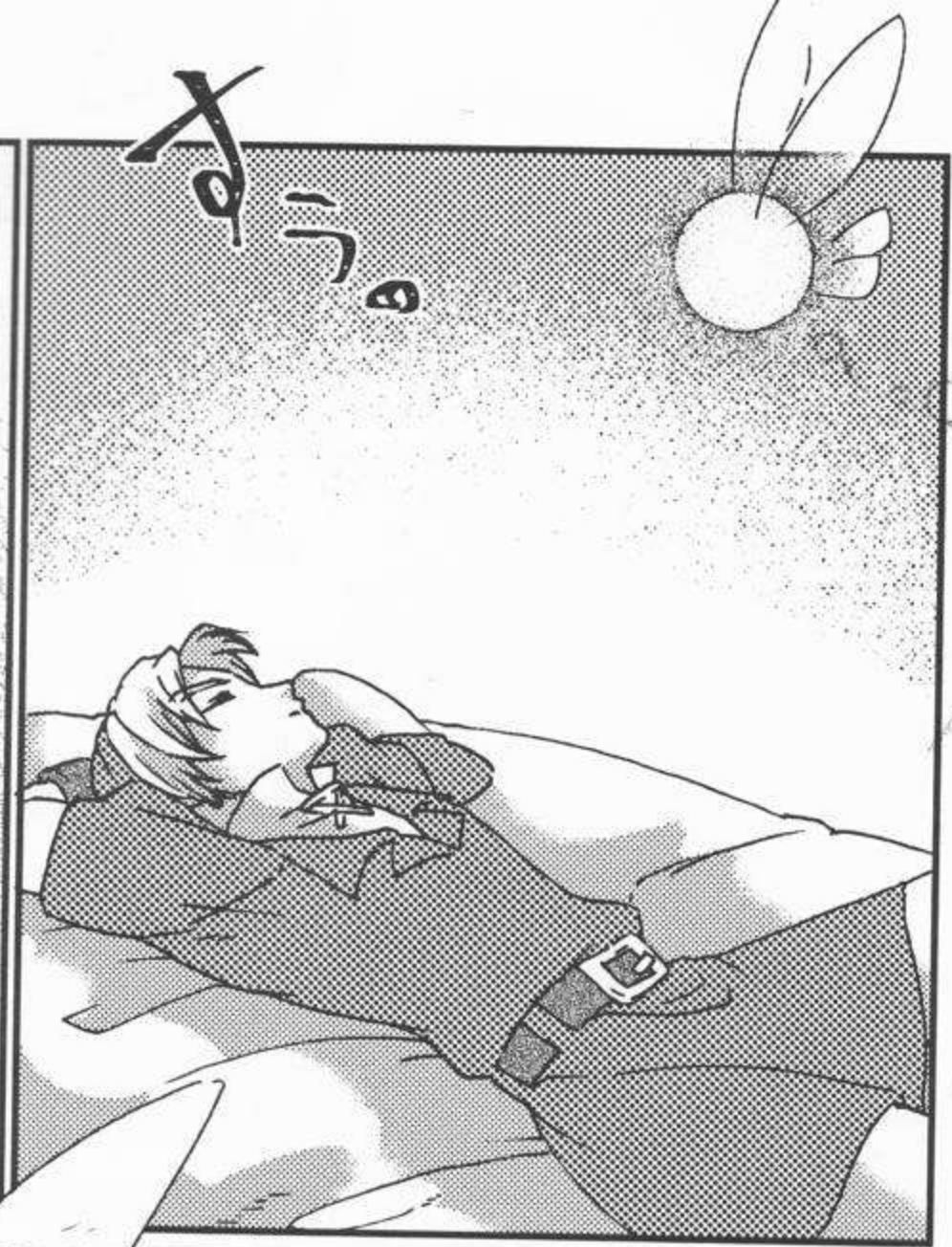
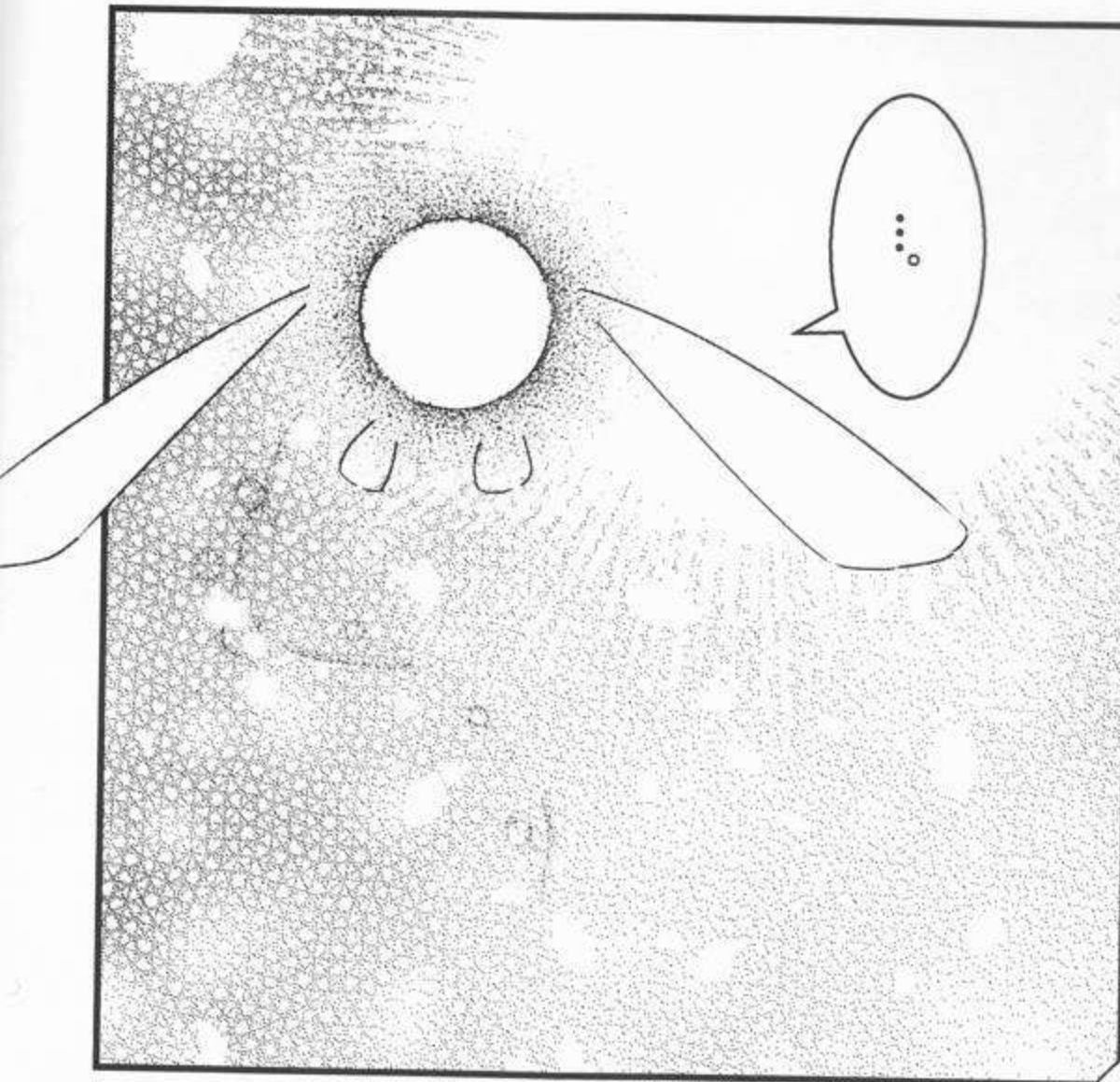
そう...あの頃とは、「変わってない」訳が無いんだ...

中庭で、二人並んで城の外の世界の話をした...あの頃とは何もかも

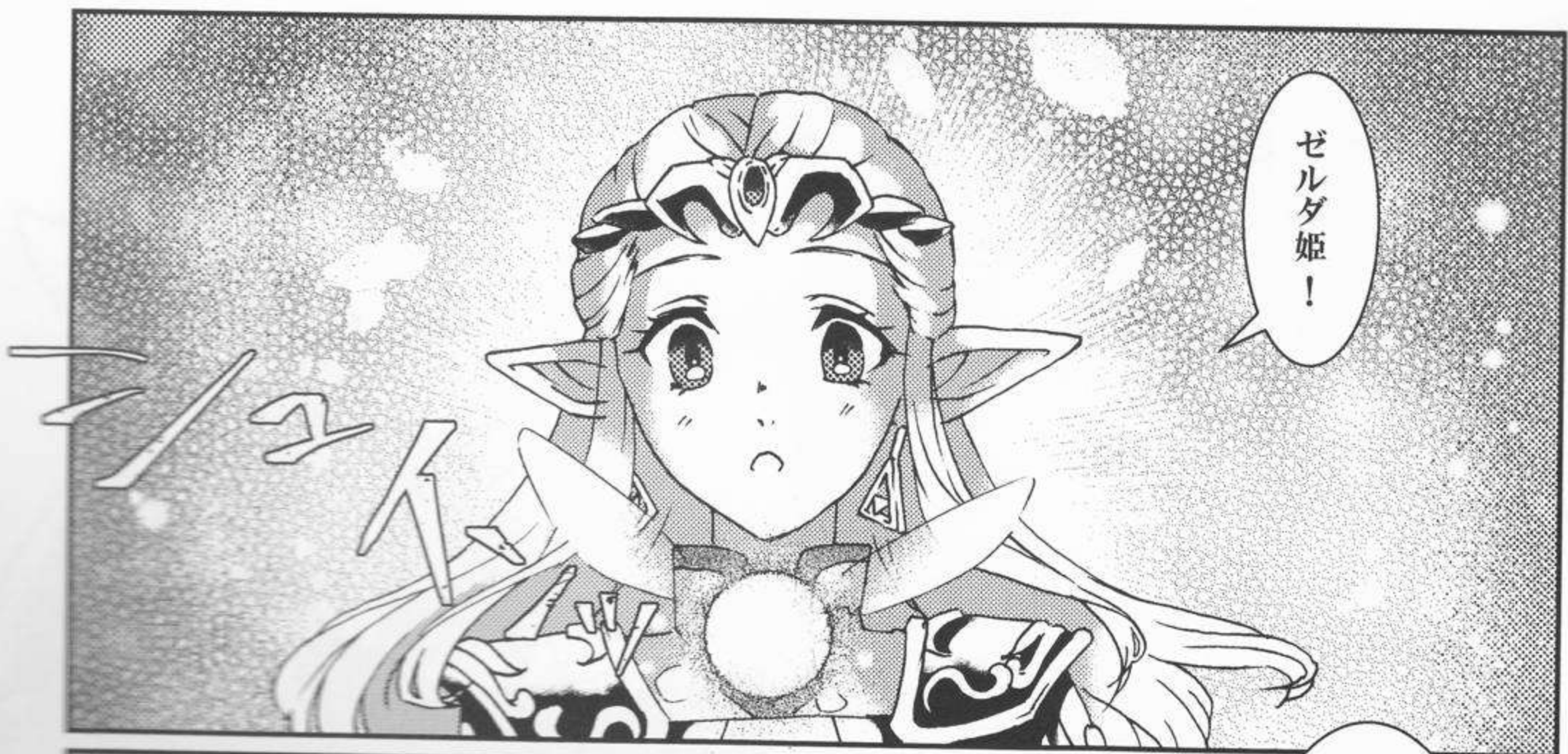


...違うんだ。

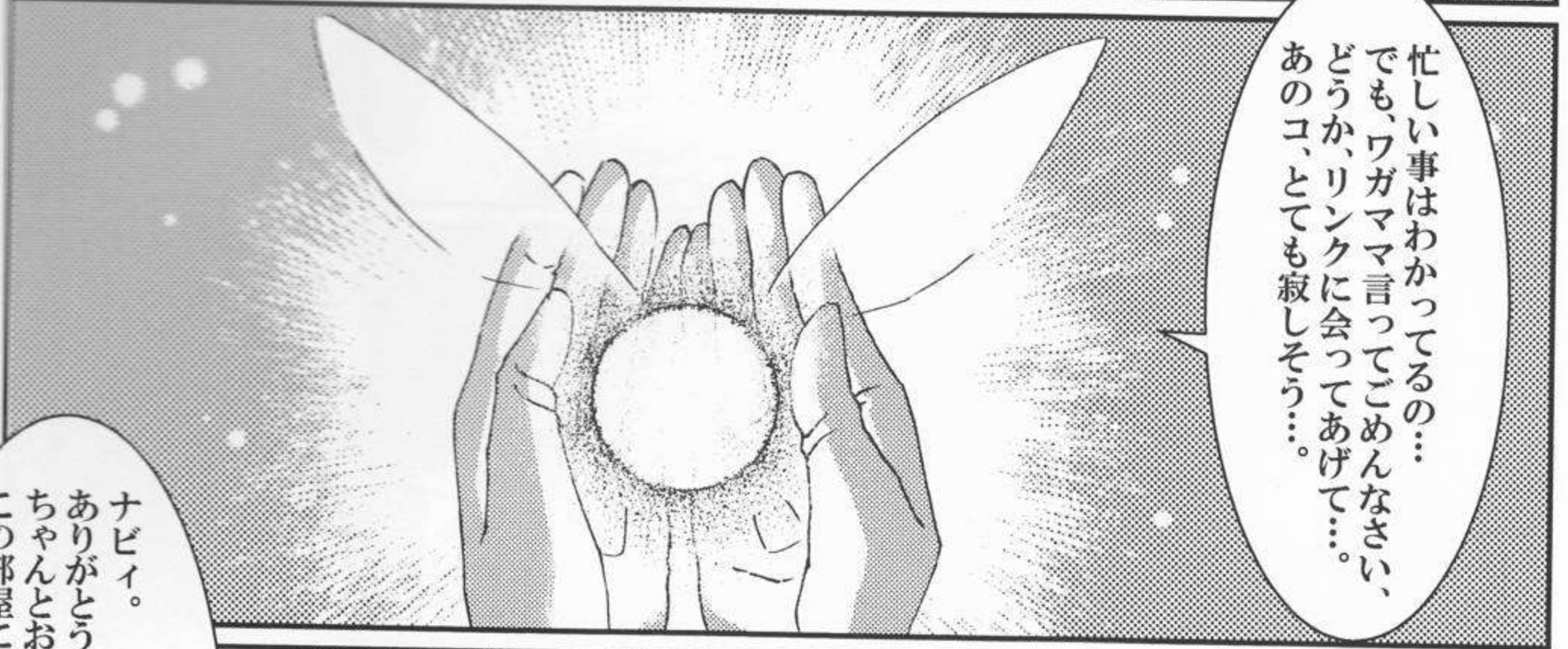




ありがとう。今日はもうあとこれだけだから、
あなたは下がってお休みになって。



ゼルダ姫！



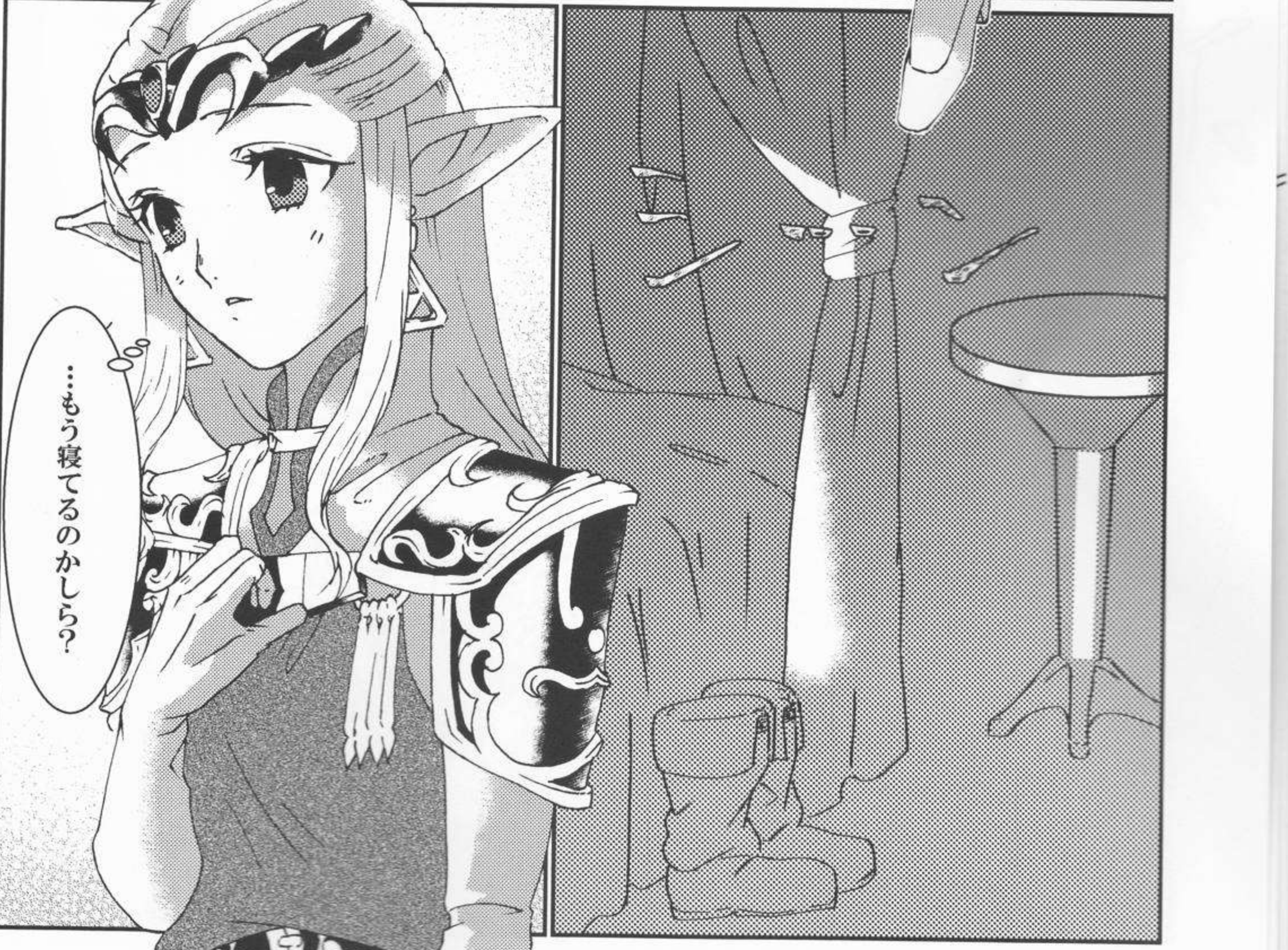
忙しい事はわかってるの…
でも、ワガママ言ってごめんなさい、
どうか、リンクに会ってあげて…。
あのコ、とても寂しそう…。

ナビィ。
ありがとう、心優しい、私の大切なお友達。
ちゃんとお話して来るわ。朝になる頃、
この部屋に戻るわね。

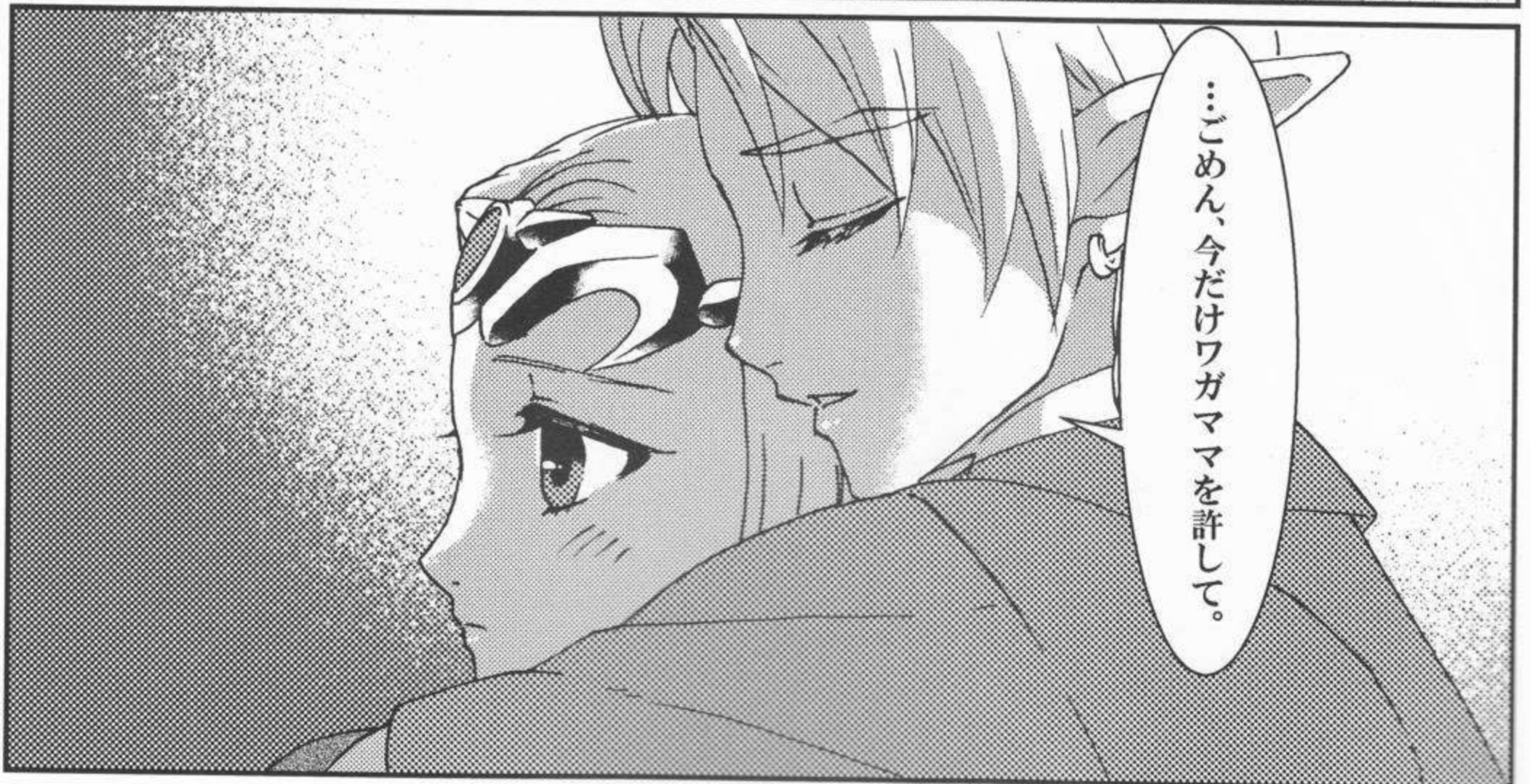
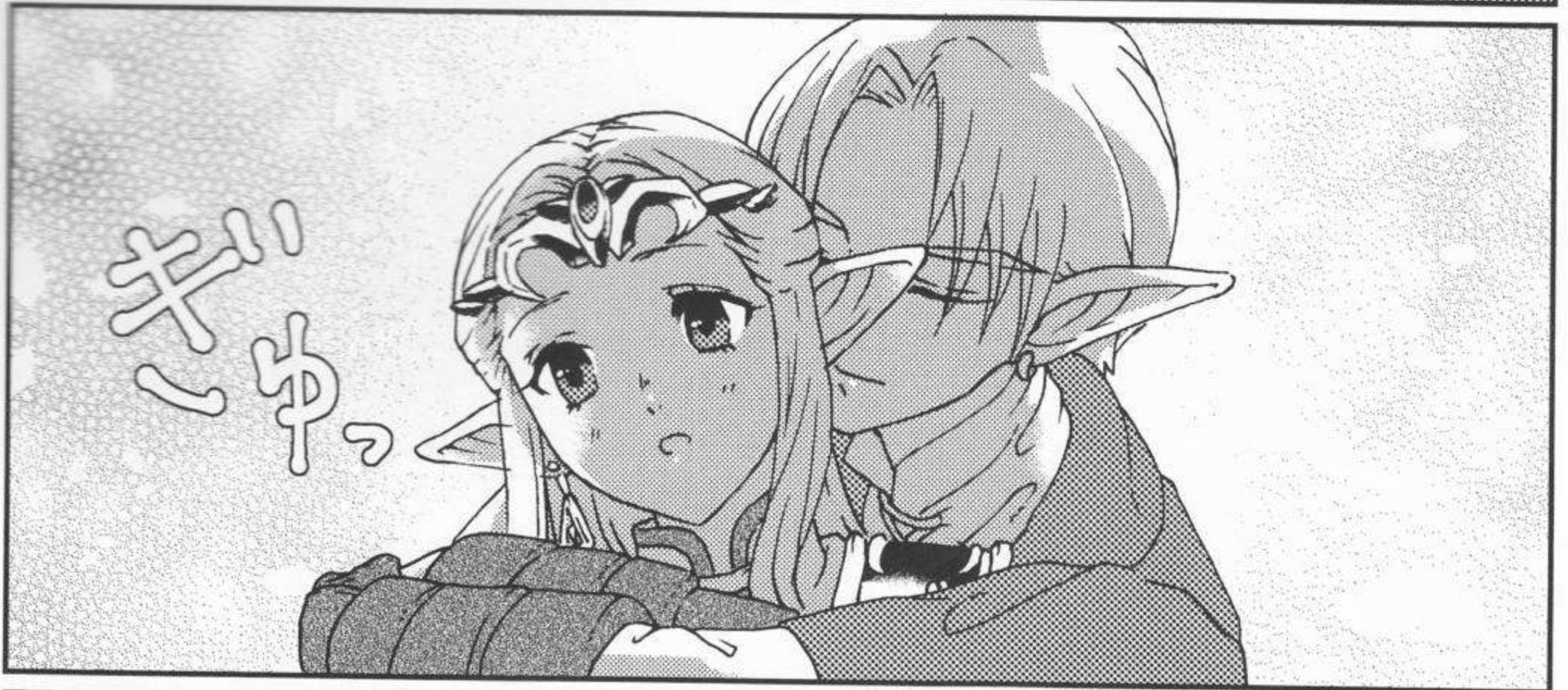
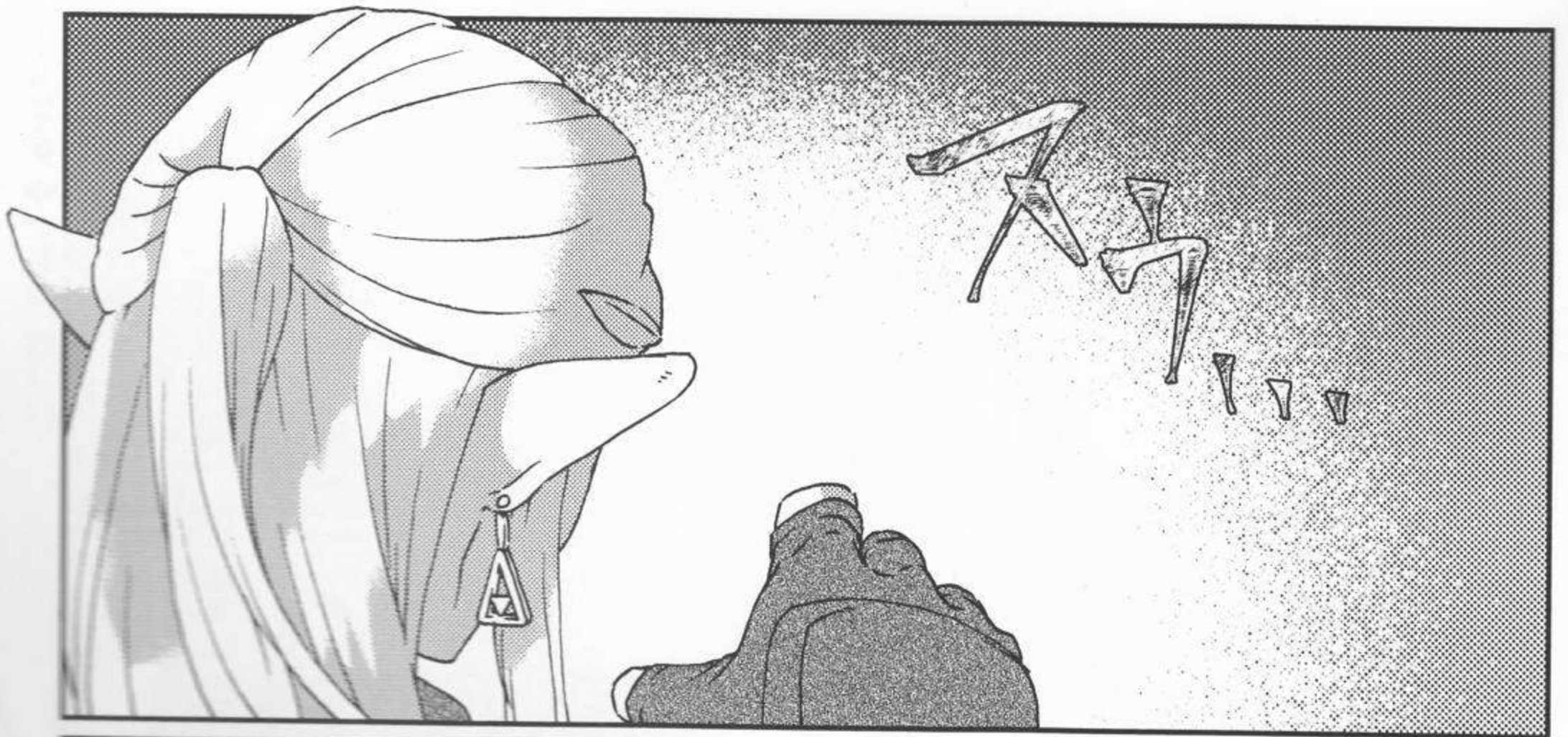


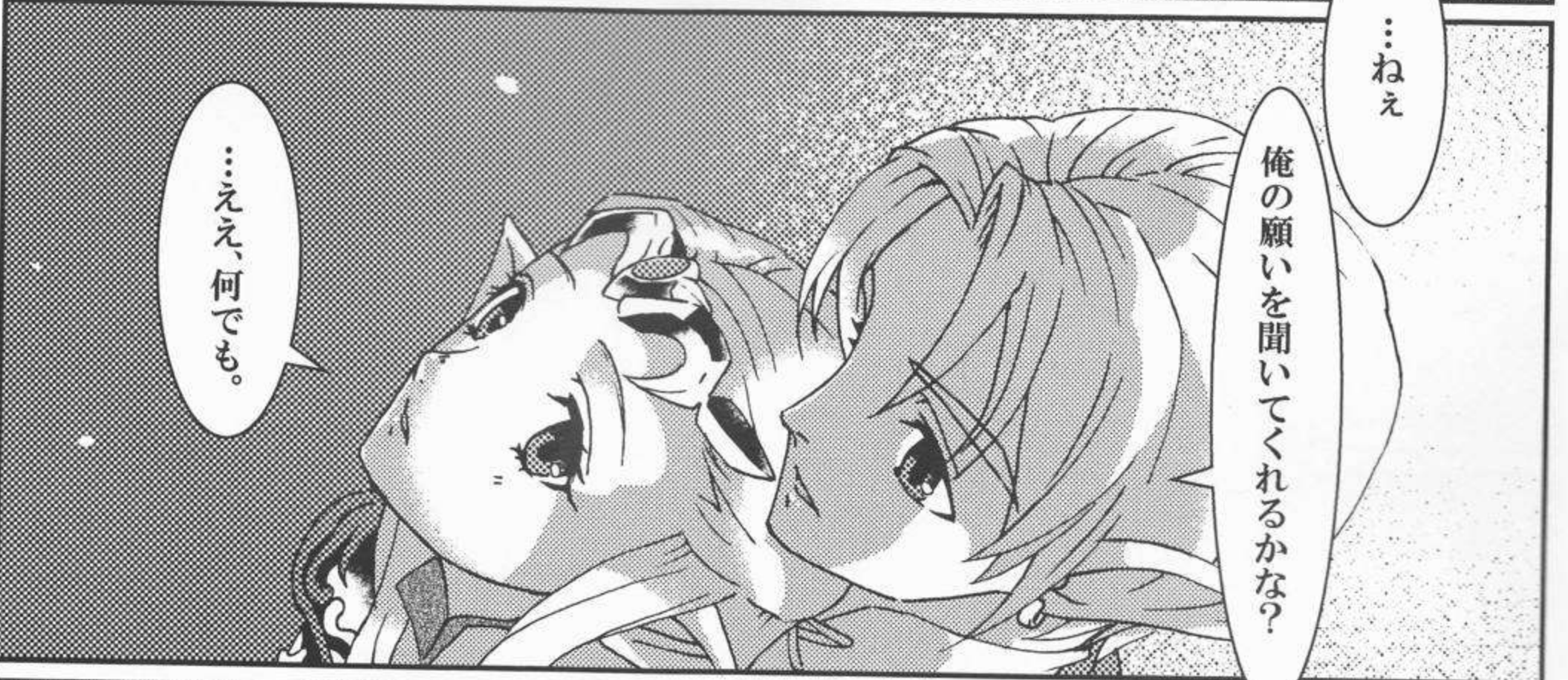
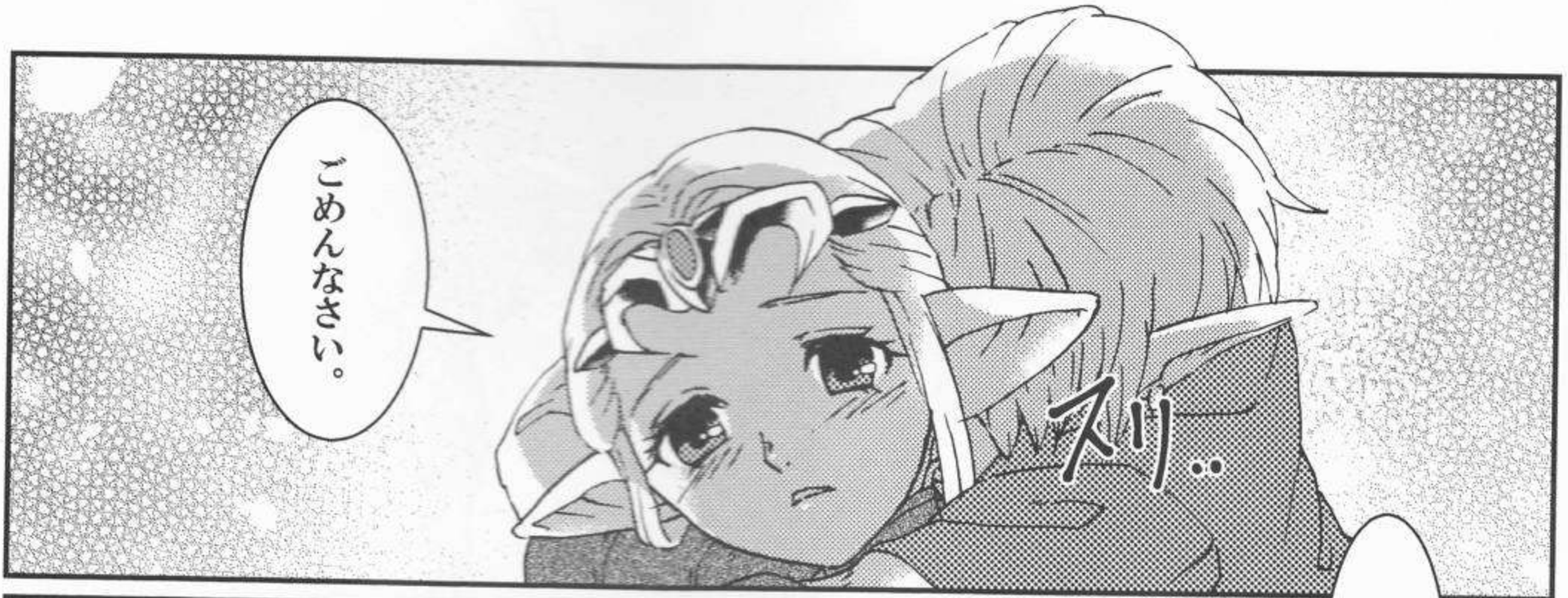
私こそ、ごめんなさい。

ちゅ。



もう寝てるのかしら?





あと…

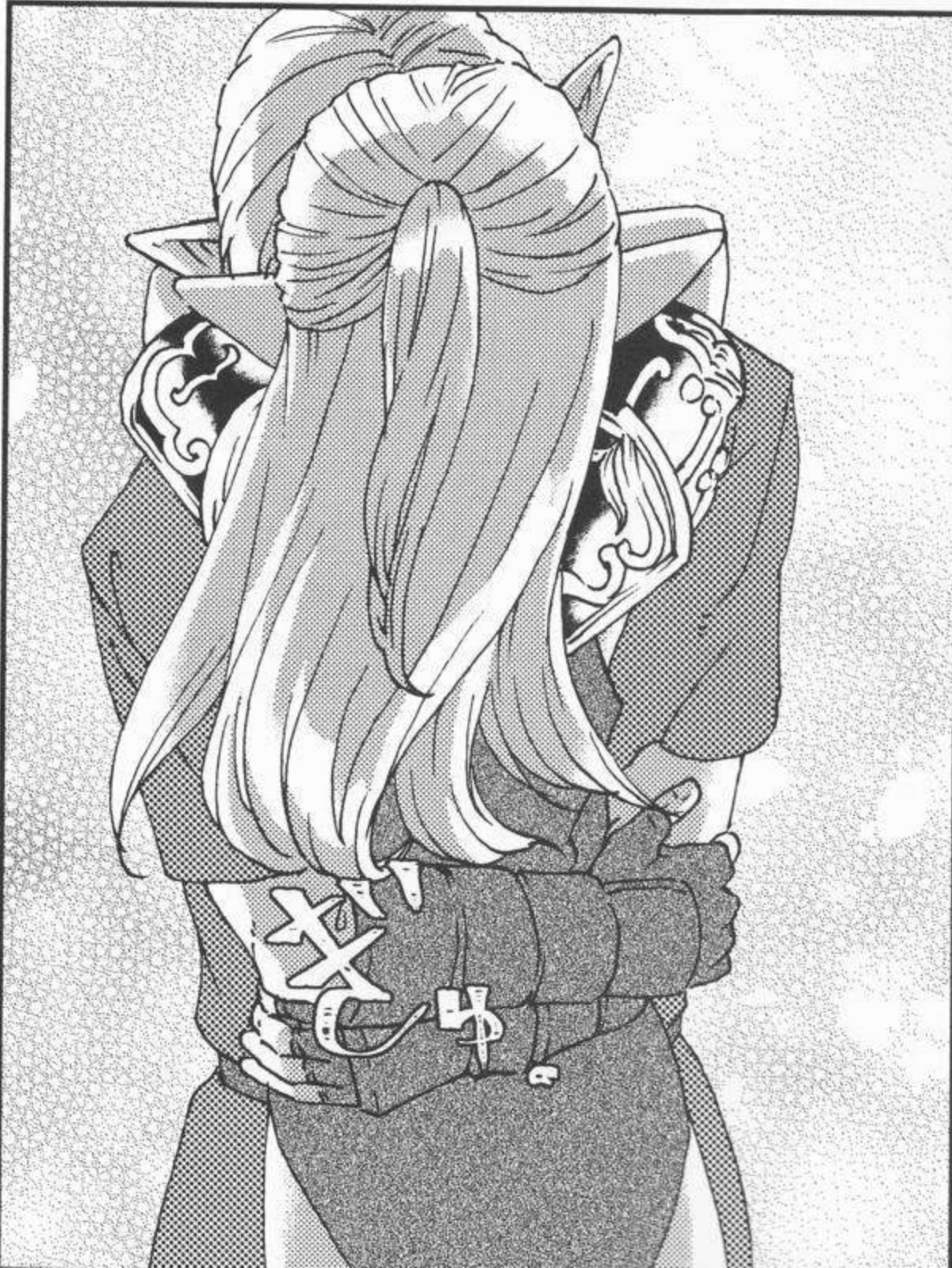
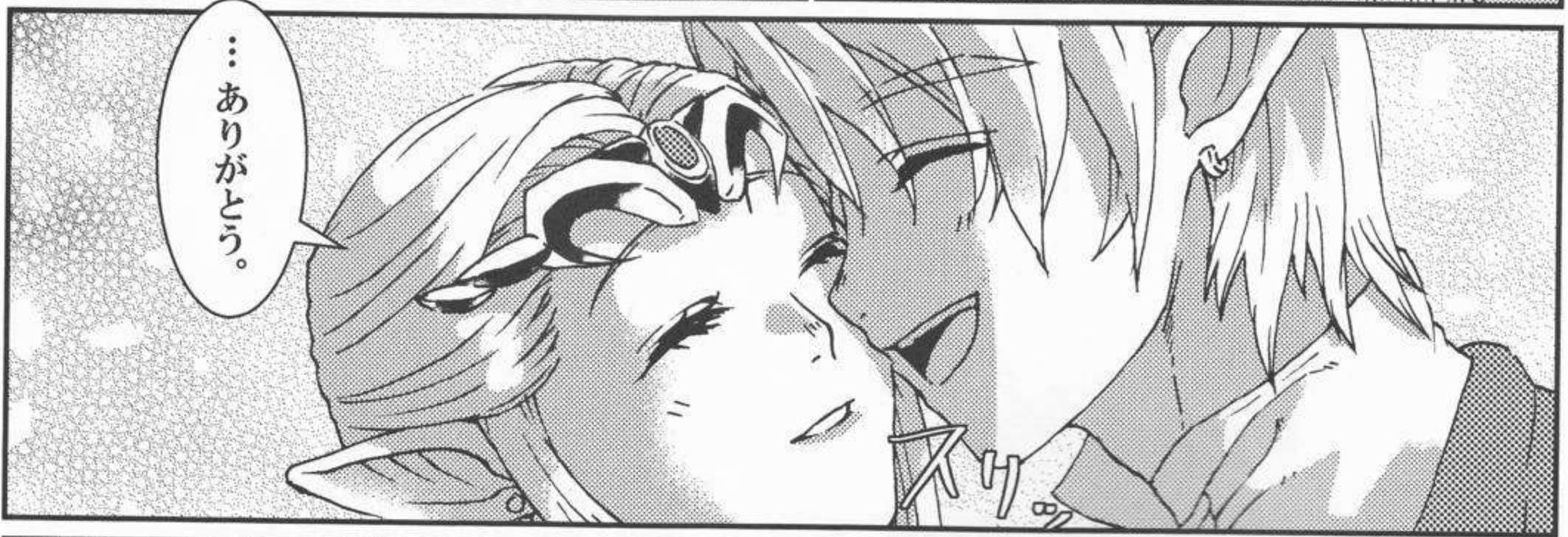
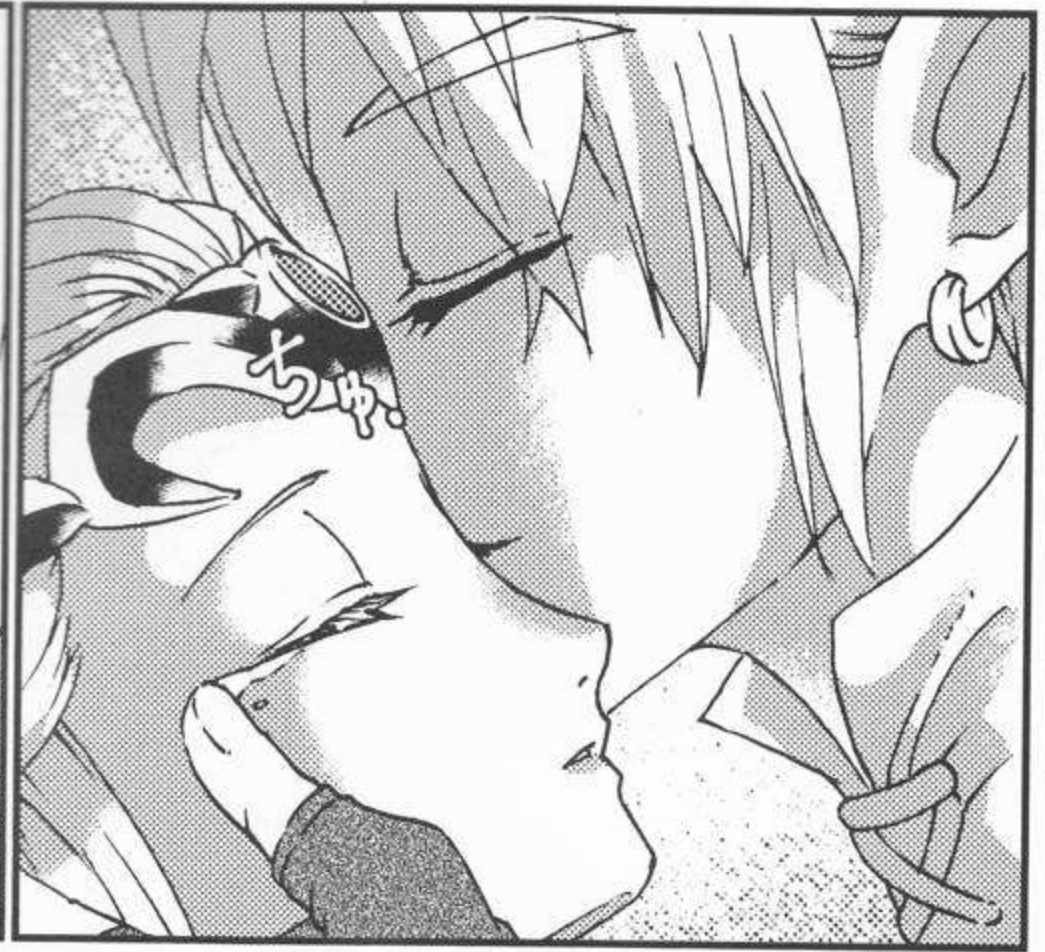
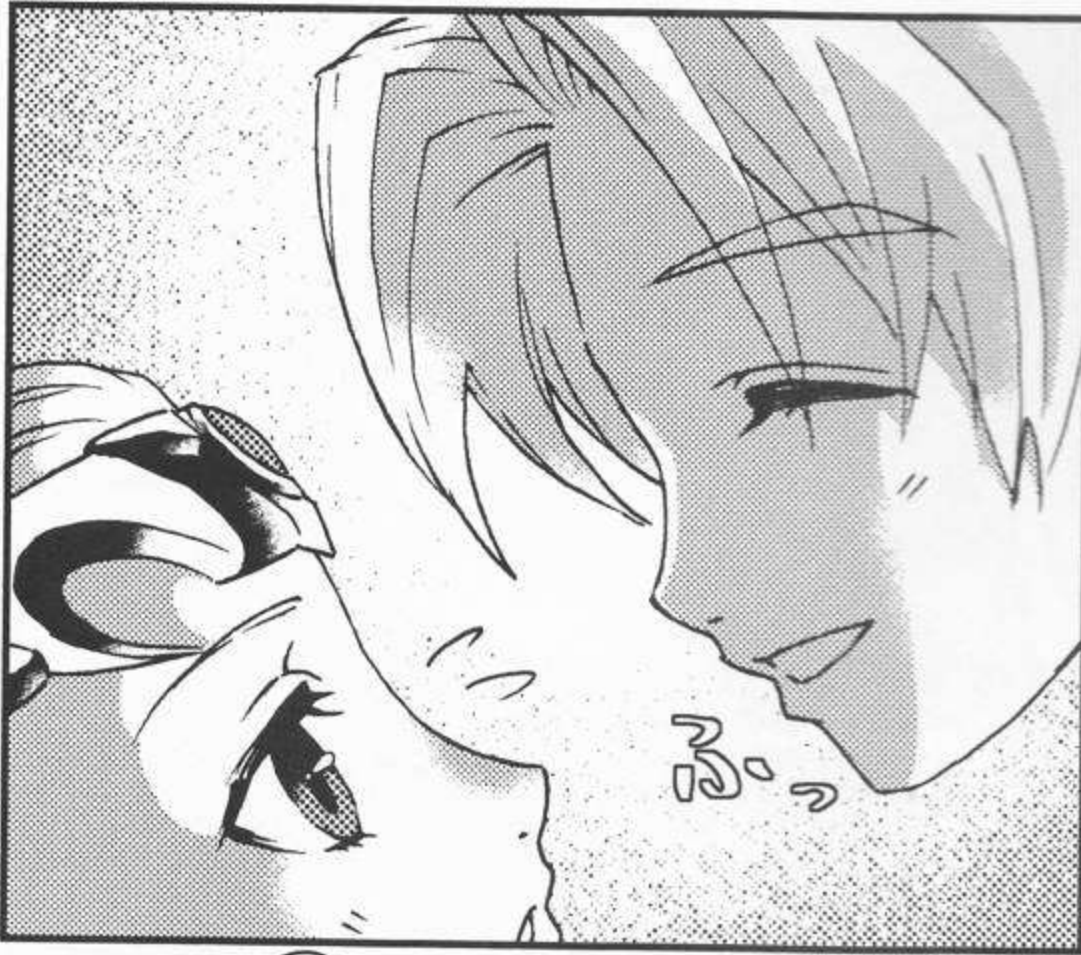
…やっぱり、寂しい。

勿論、君には国の事を一番に
考えなきゃいけない、義務があるんだらうけど…
それでも、やっぱり、寂しい。

俺には、君が一番だ。
勿論、君の愛するこの国も大切だ。

…泣かないで。

君には、笑顔でいて欲しい。





ねえ？



ぽいぽい

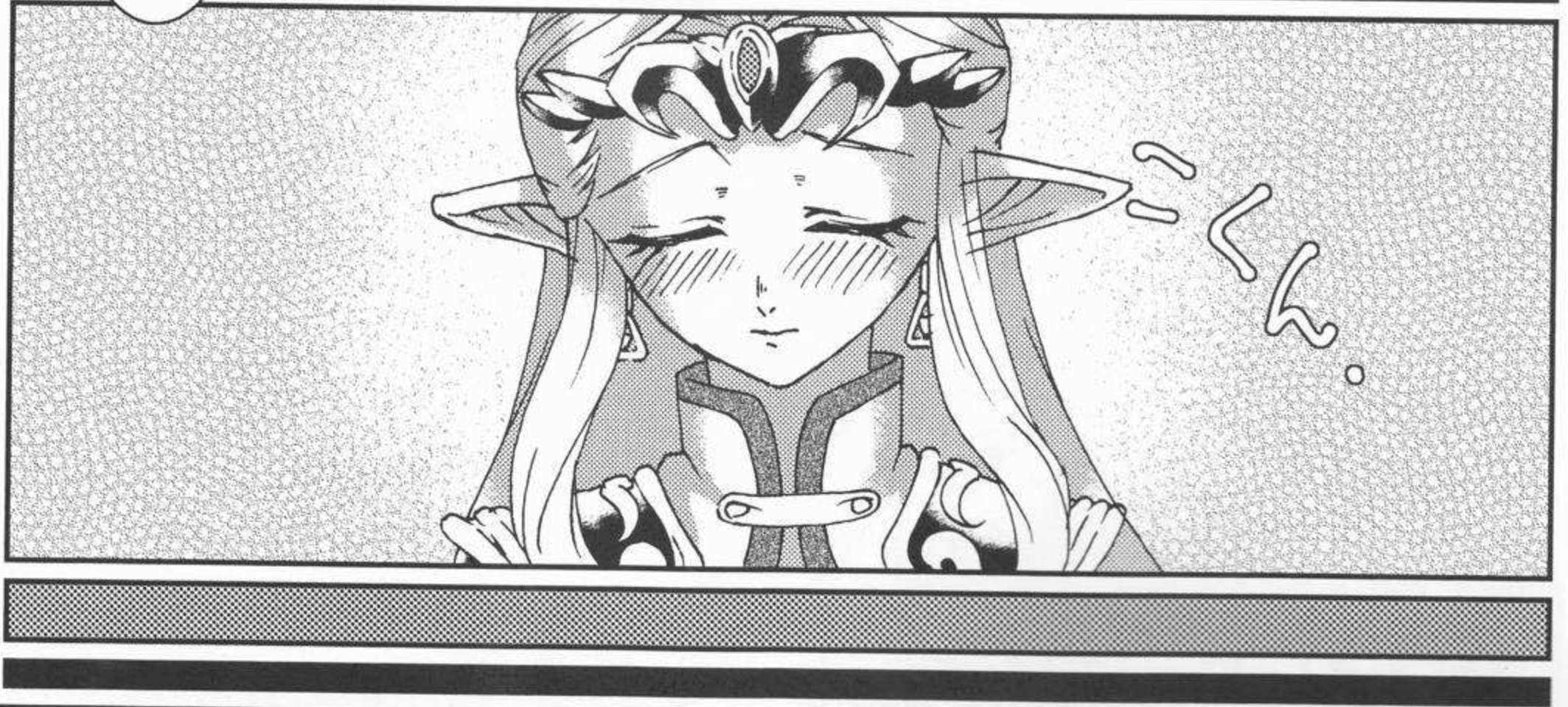


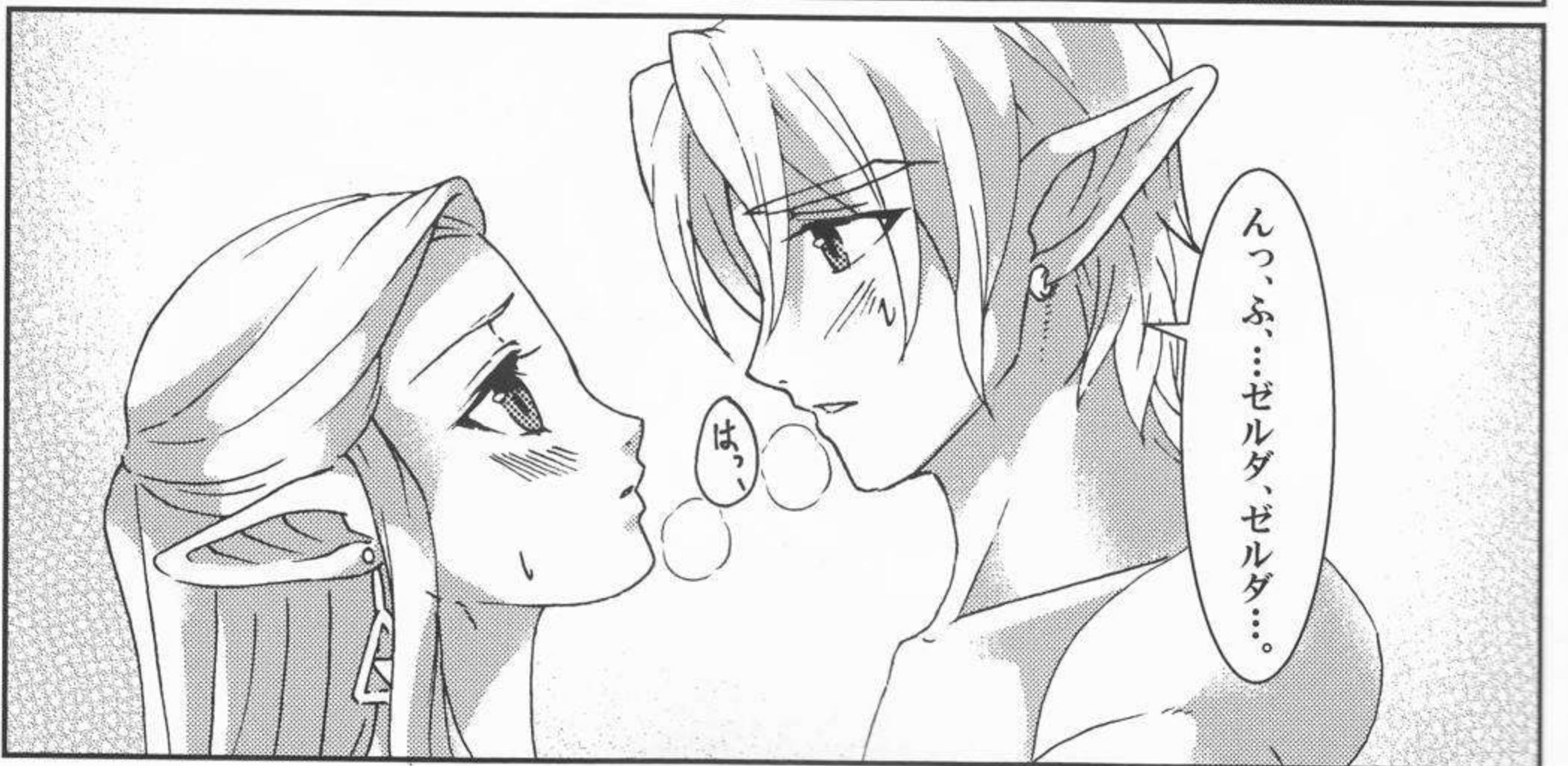
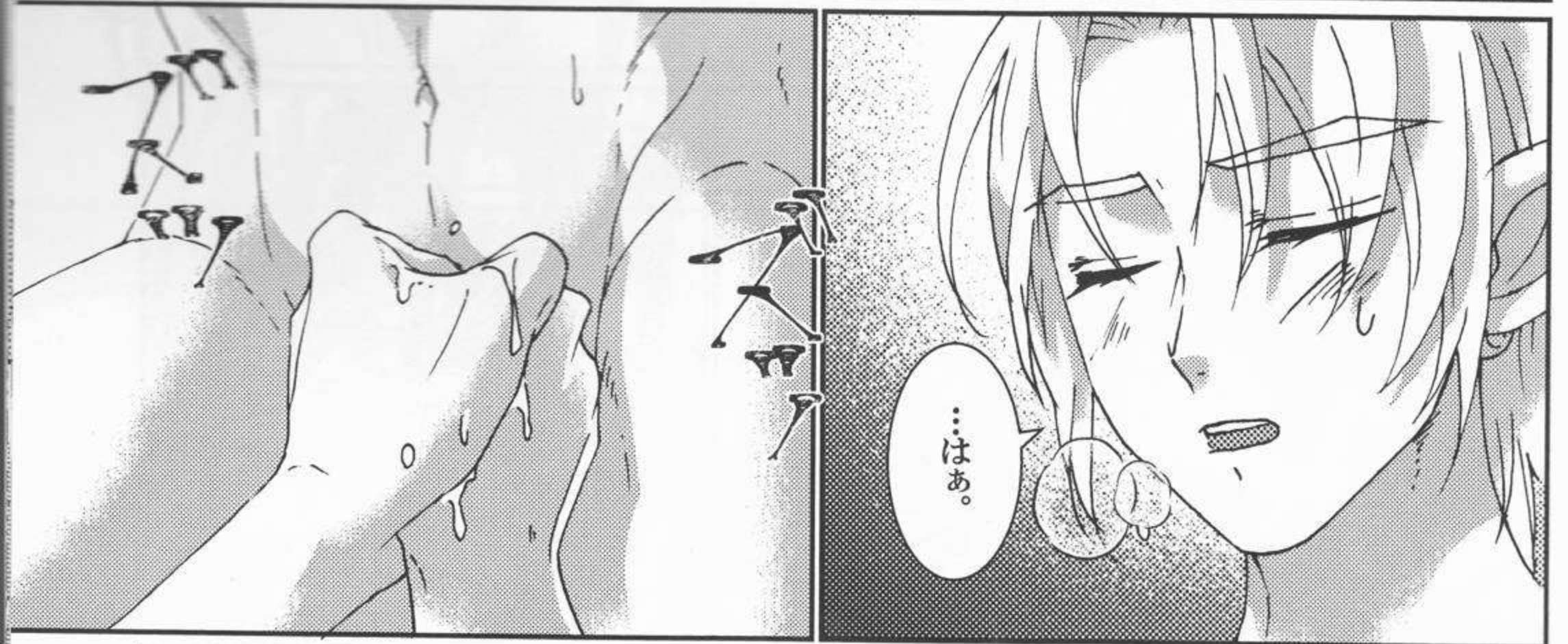
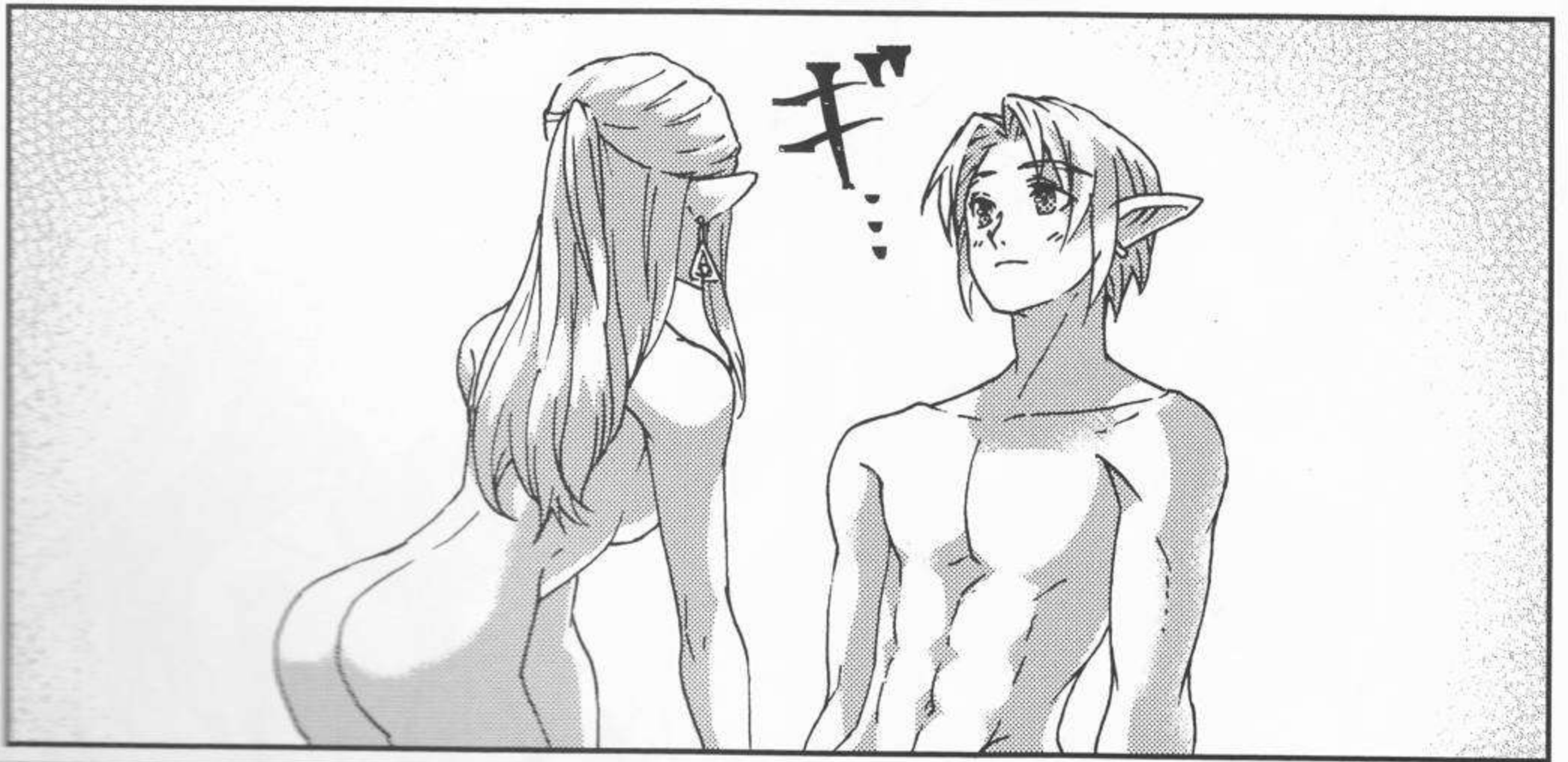
今日は、ゼルダからして。



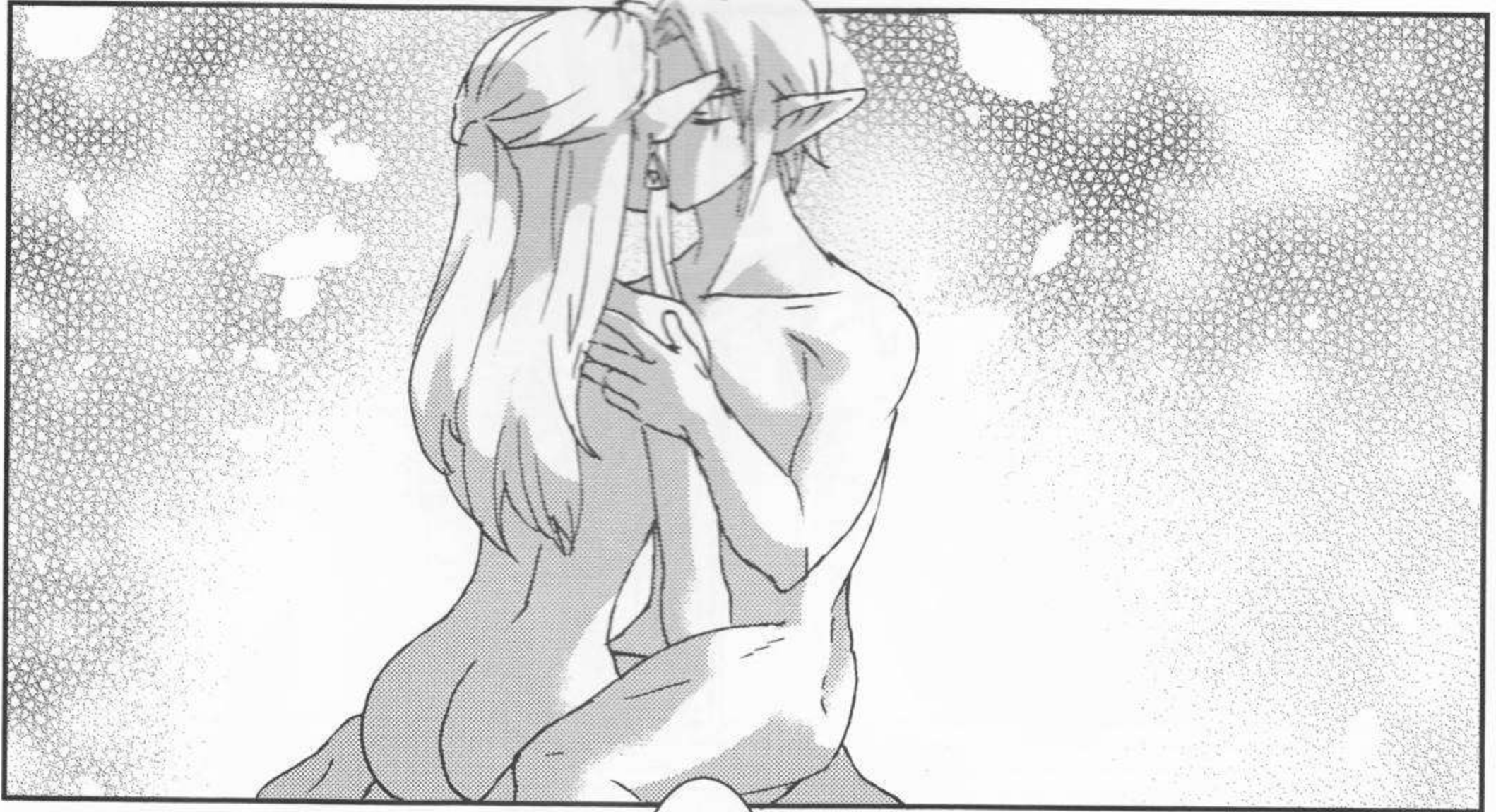
まだ…仕事が残っているの。

おす！！



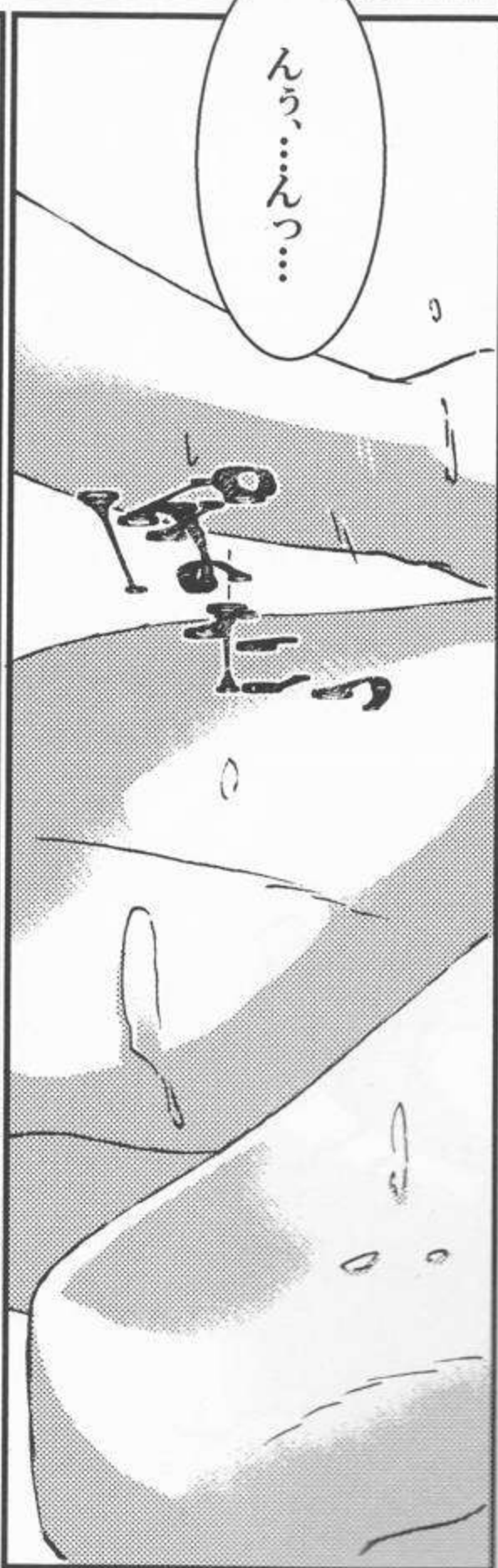


ちゅ、

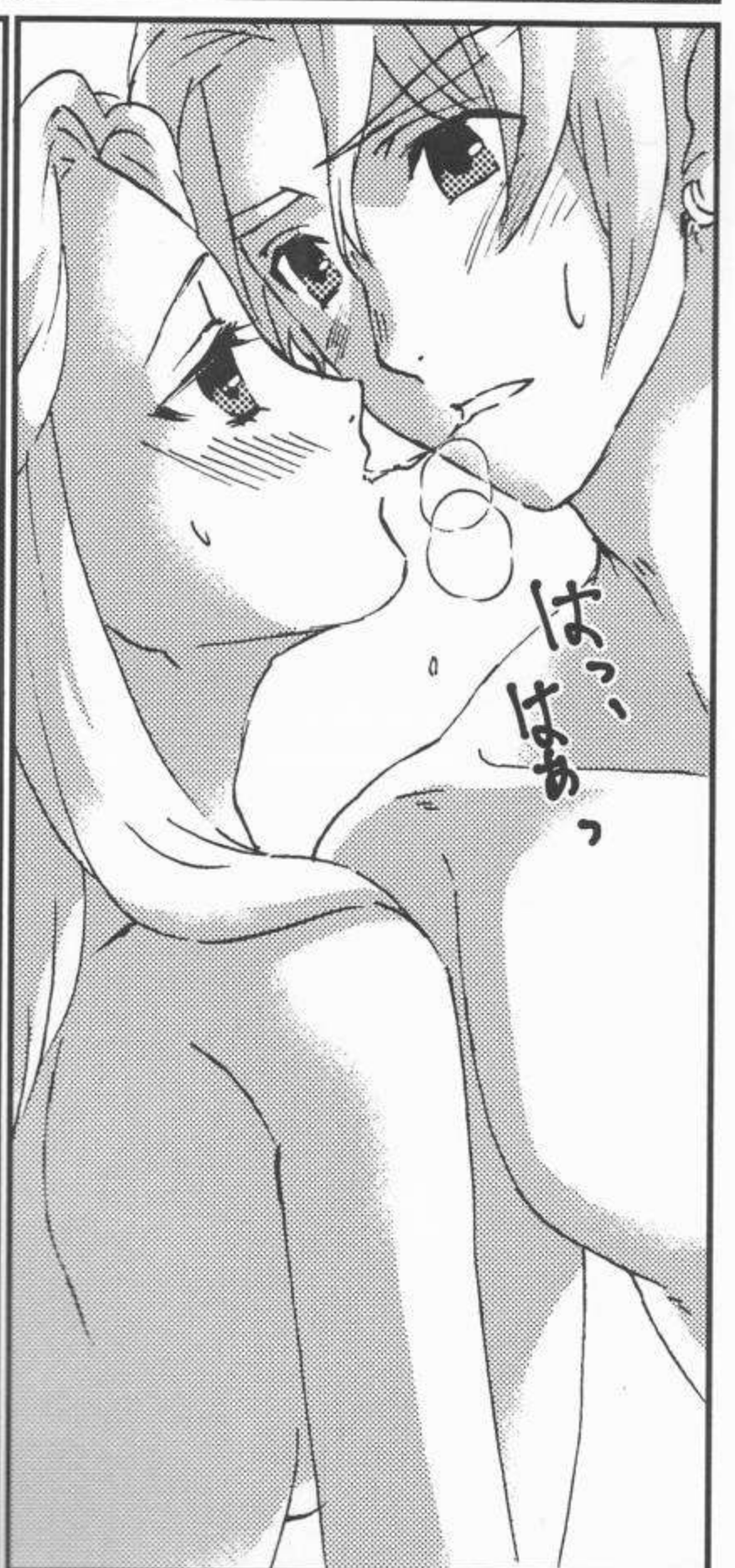


くっ、あっ…!!

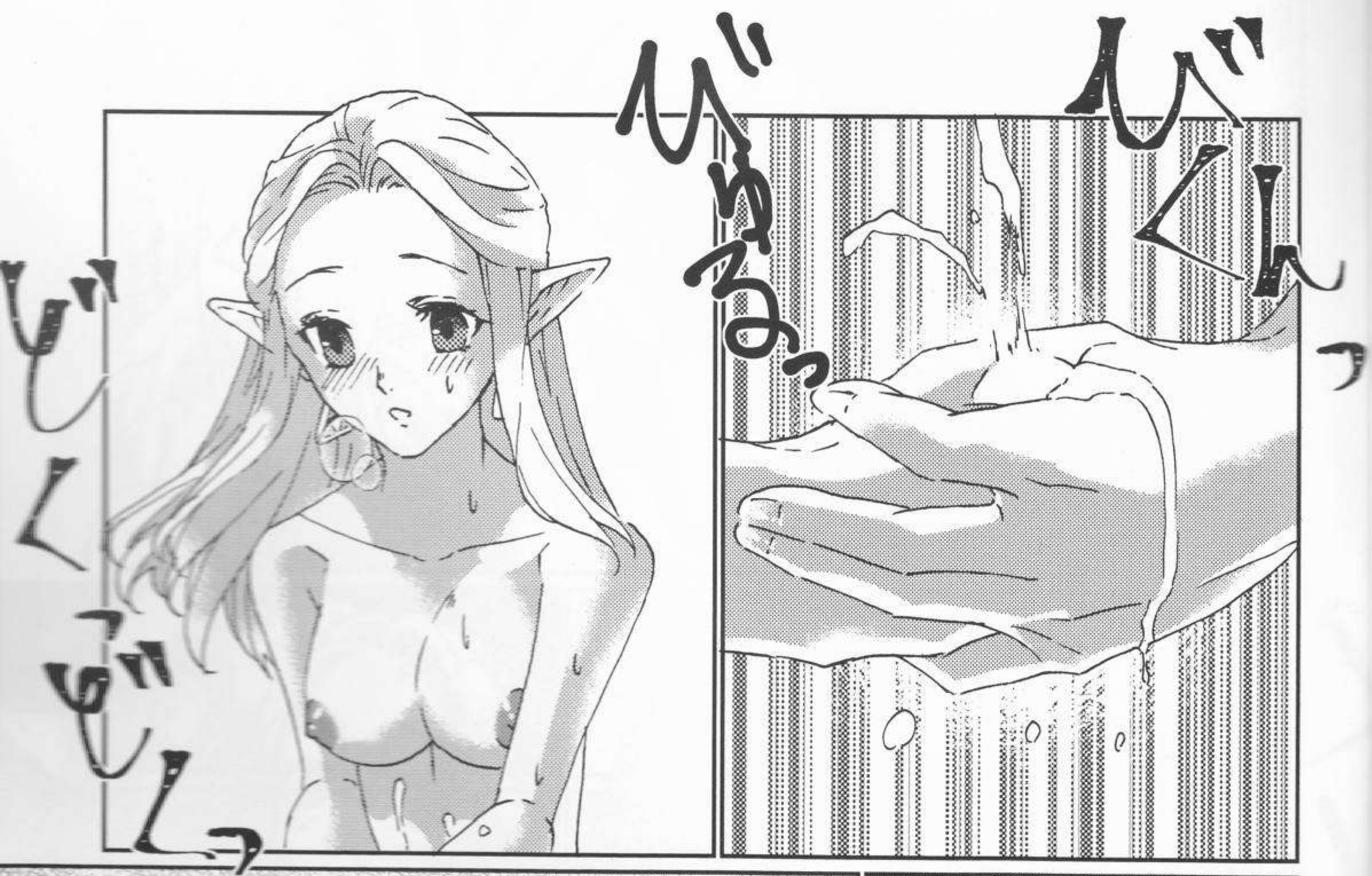
ぎゅ、ぎゅ、



んっ…んっ…

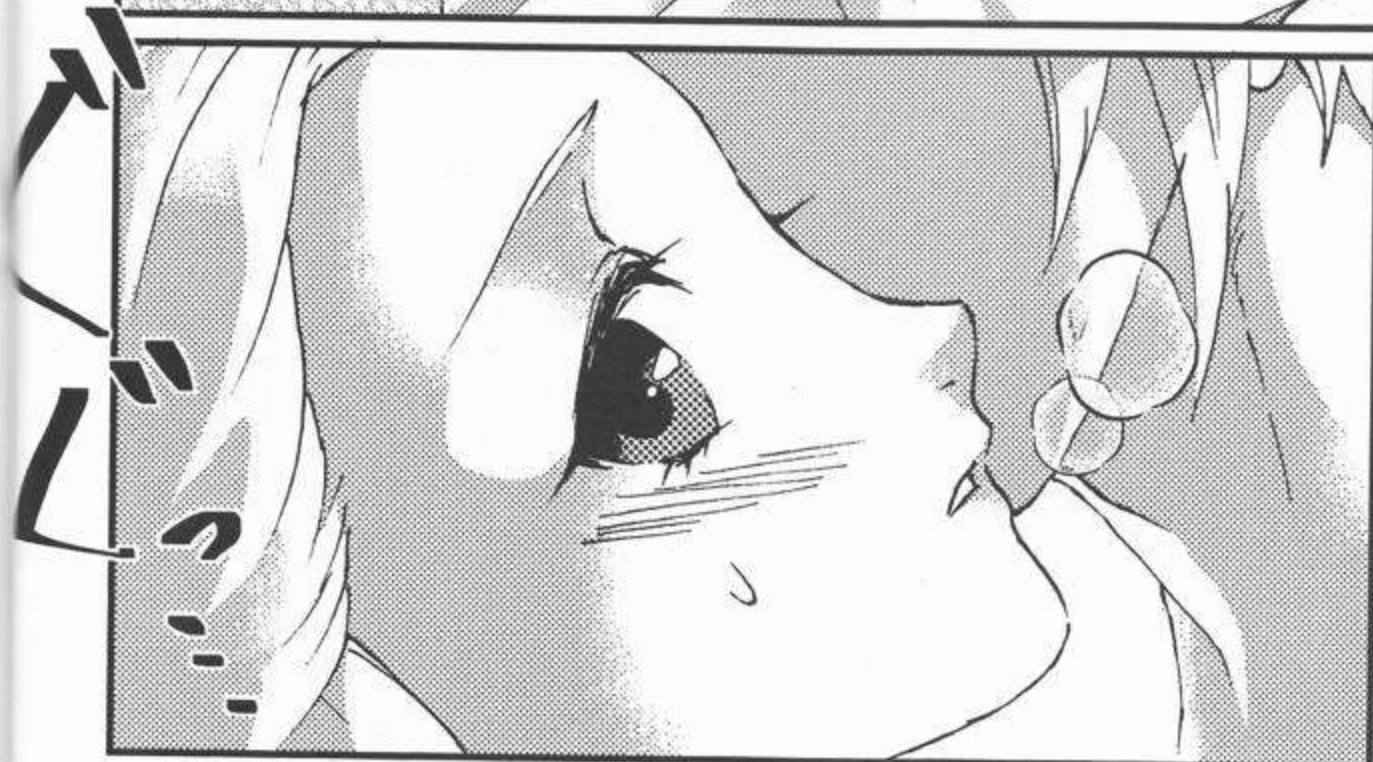


ぎゅ、ぎゅ、





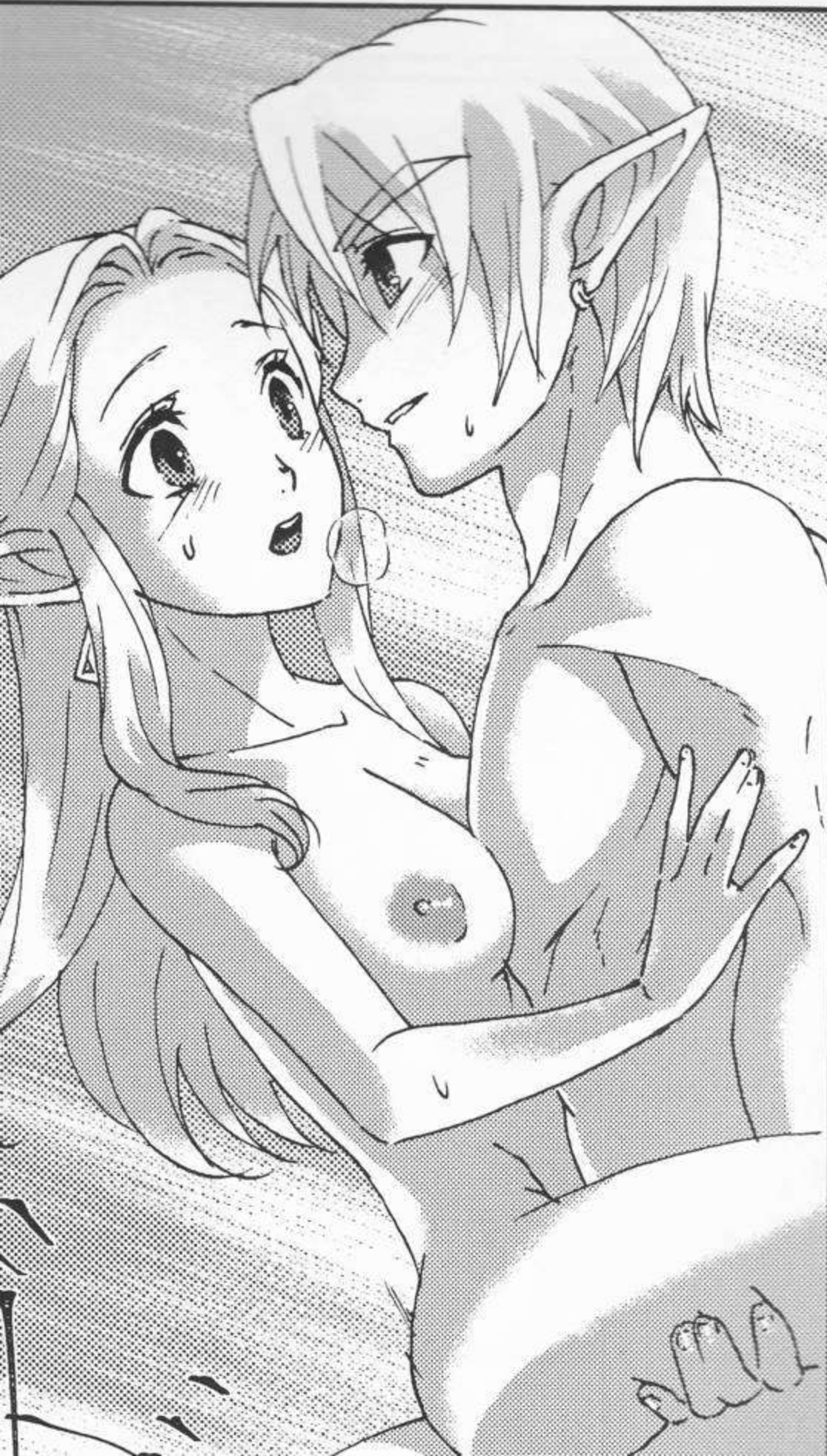
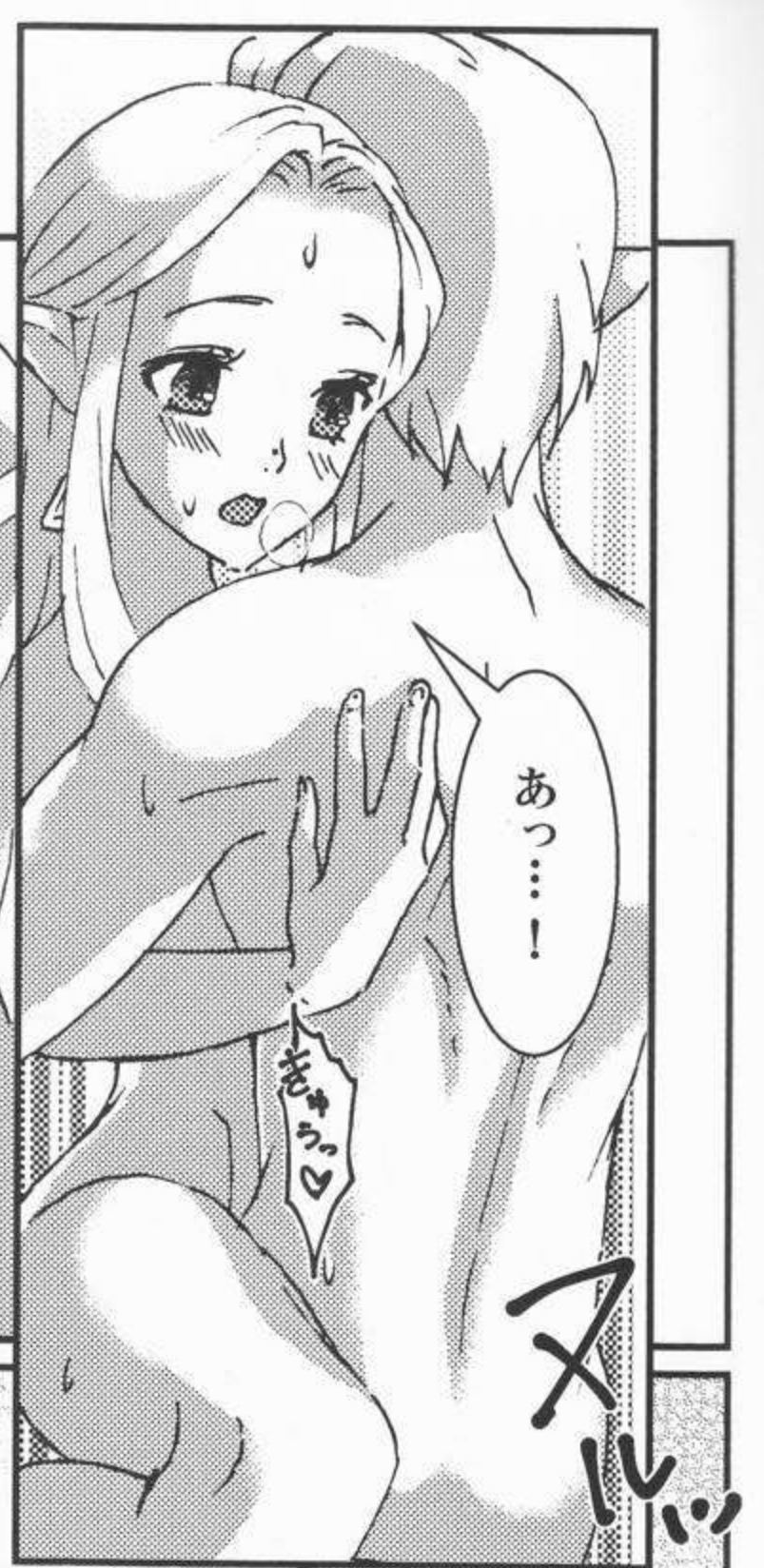
今日は、ゼルダからしてもらおう。
お願い、だったよね？



ほら、手でしっかり支えて。



手伝ってあげるから。ね。







はあっ、はあっ...!!



可愛い...、ゼルダ...!ゼルダ...!!

愛してる…！
ゼルダ！ゼルダ…っ
!!!!

トク

ワッ

ぽあっ！
ぽあ！

ぽあ♡

ぽあ♡♡

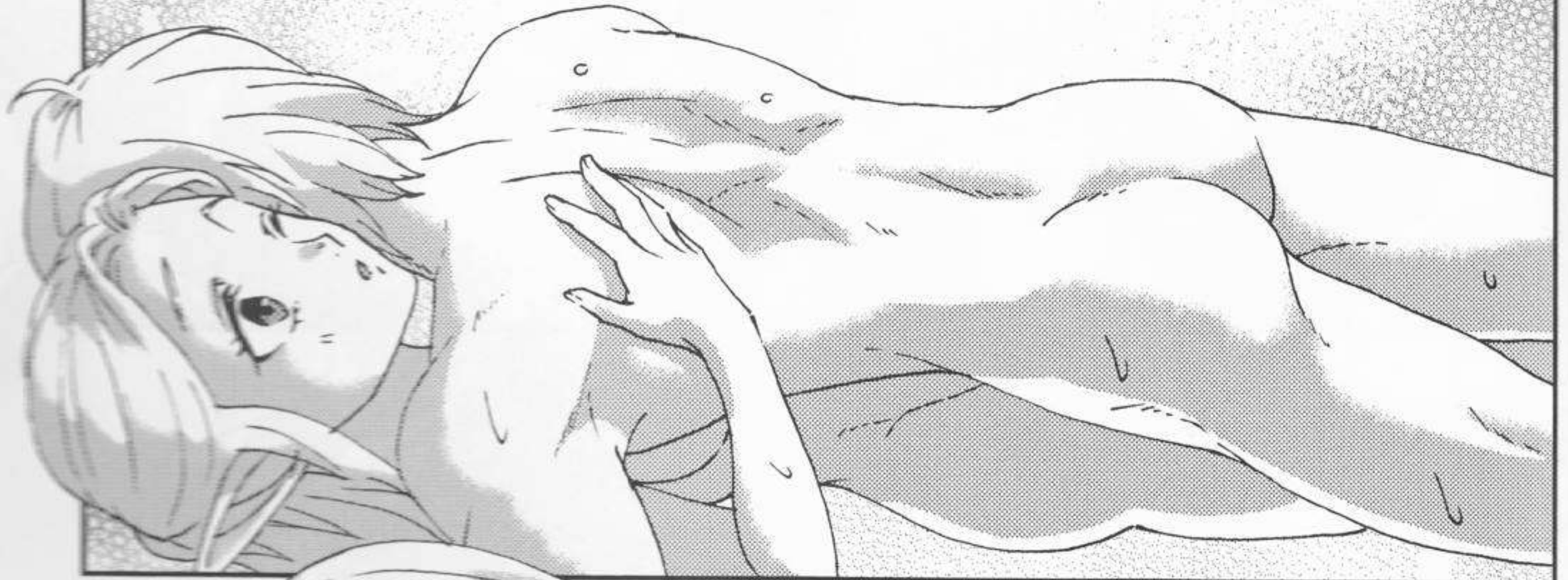
ワッ

ワッ

ワッ

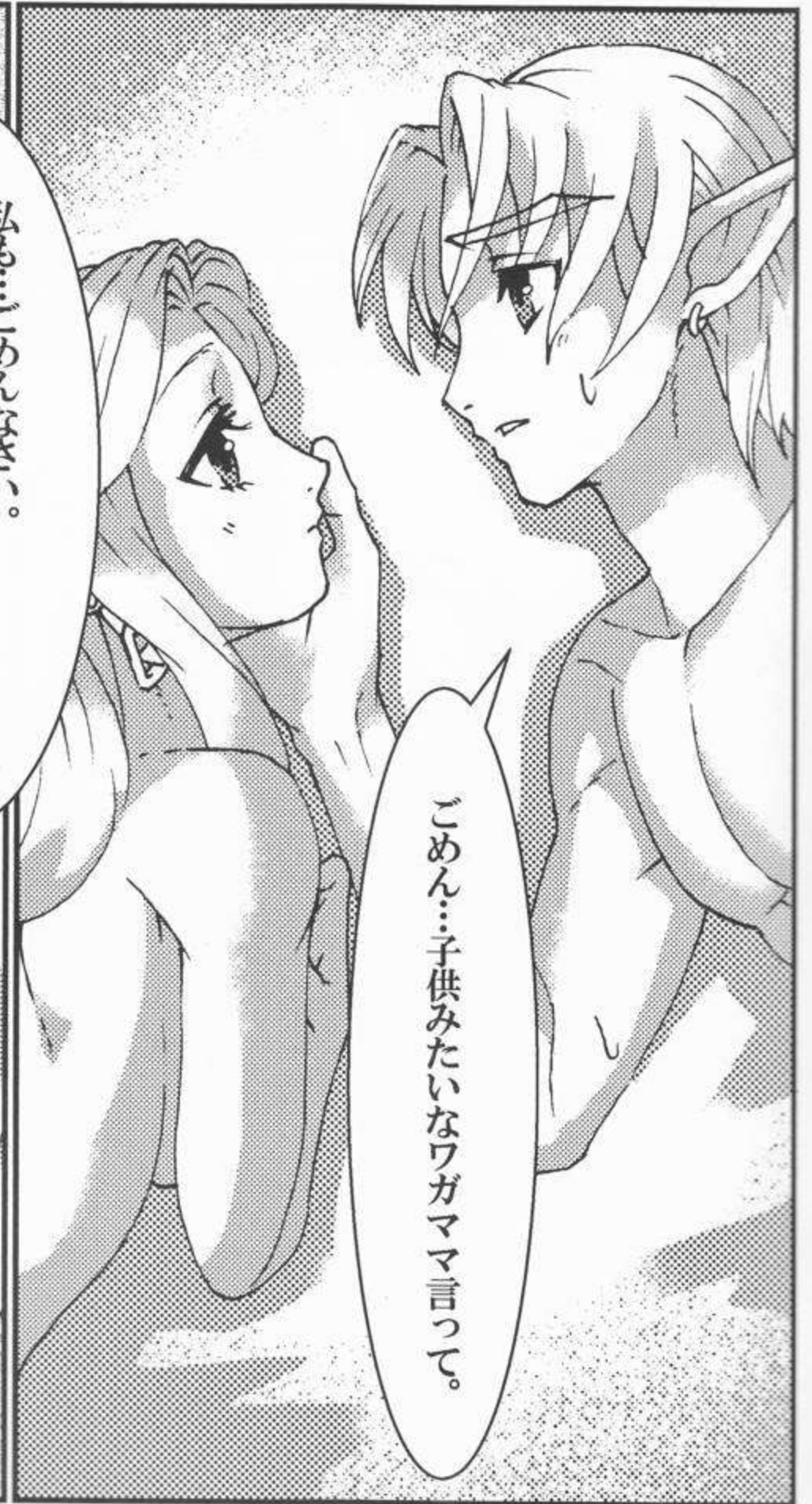


ぼんっ



私も…ごめんなさい。
どうしても急ぎたい用事があったって…
一番大切な事後まわしにしてた…。

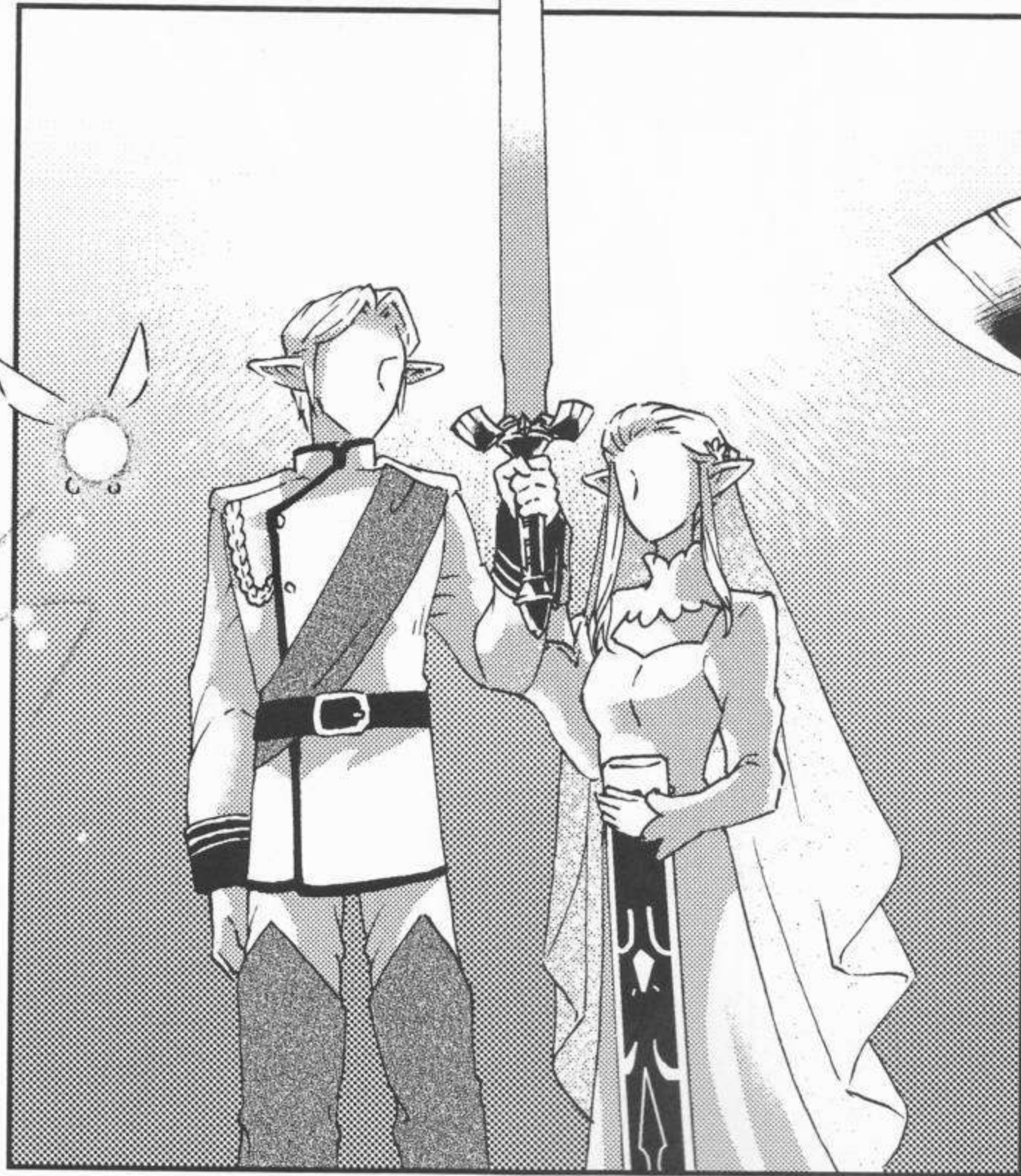
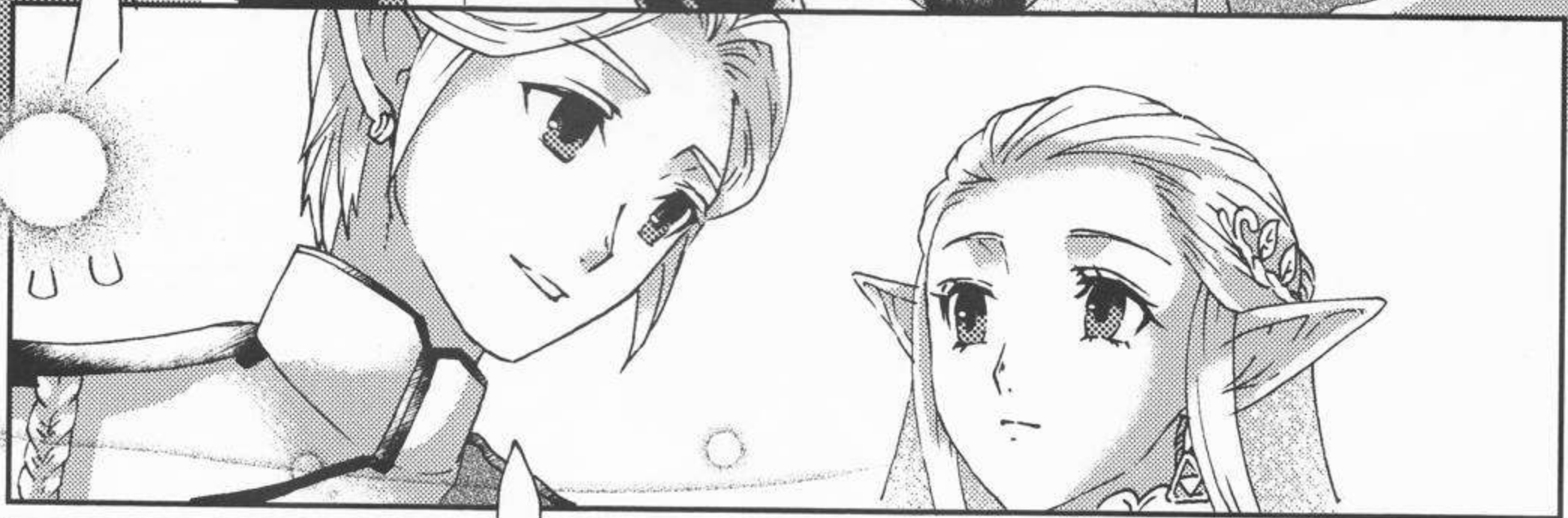
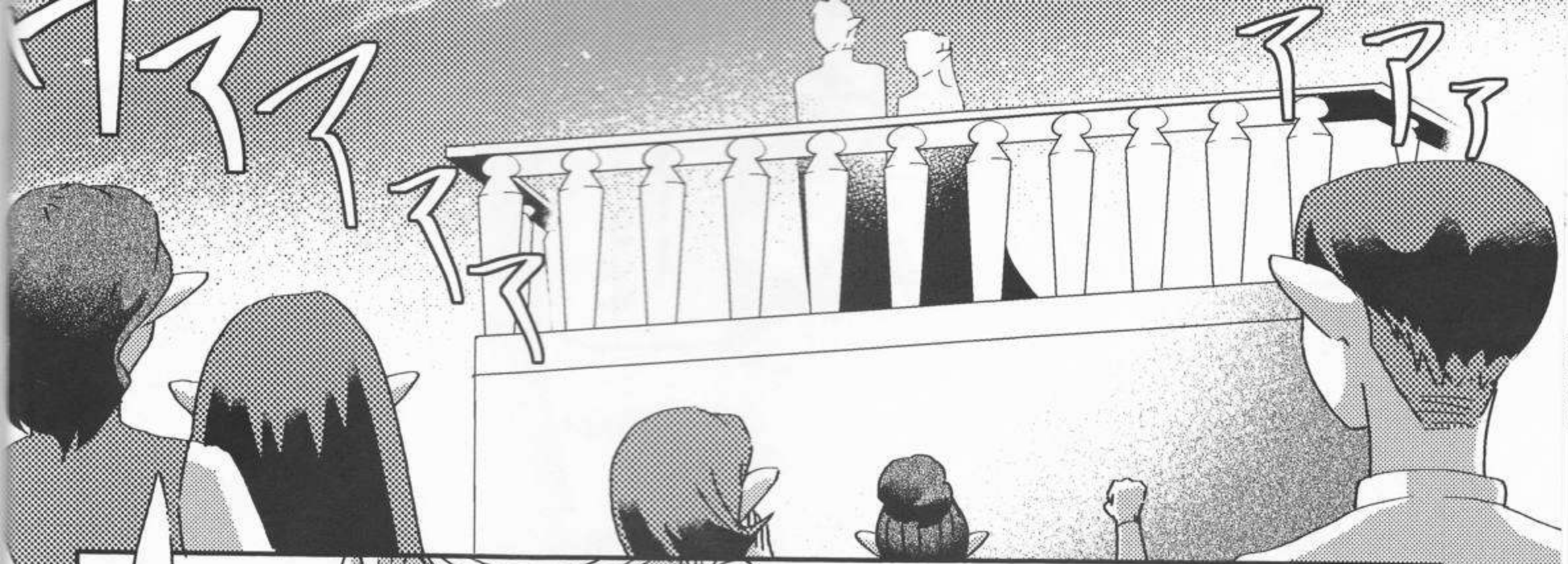
ふふっ。

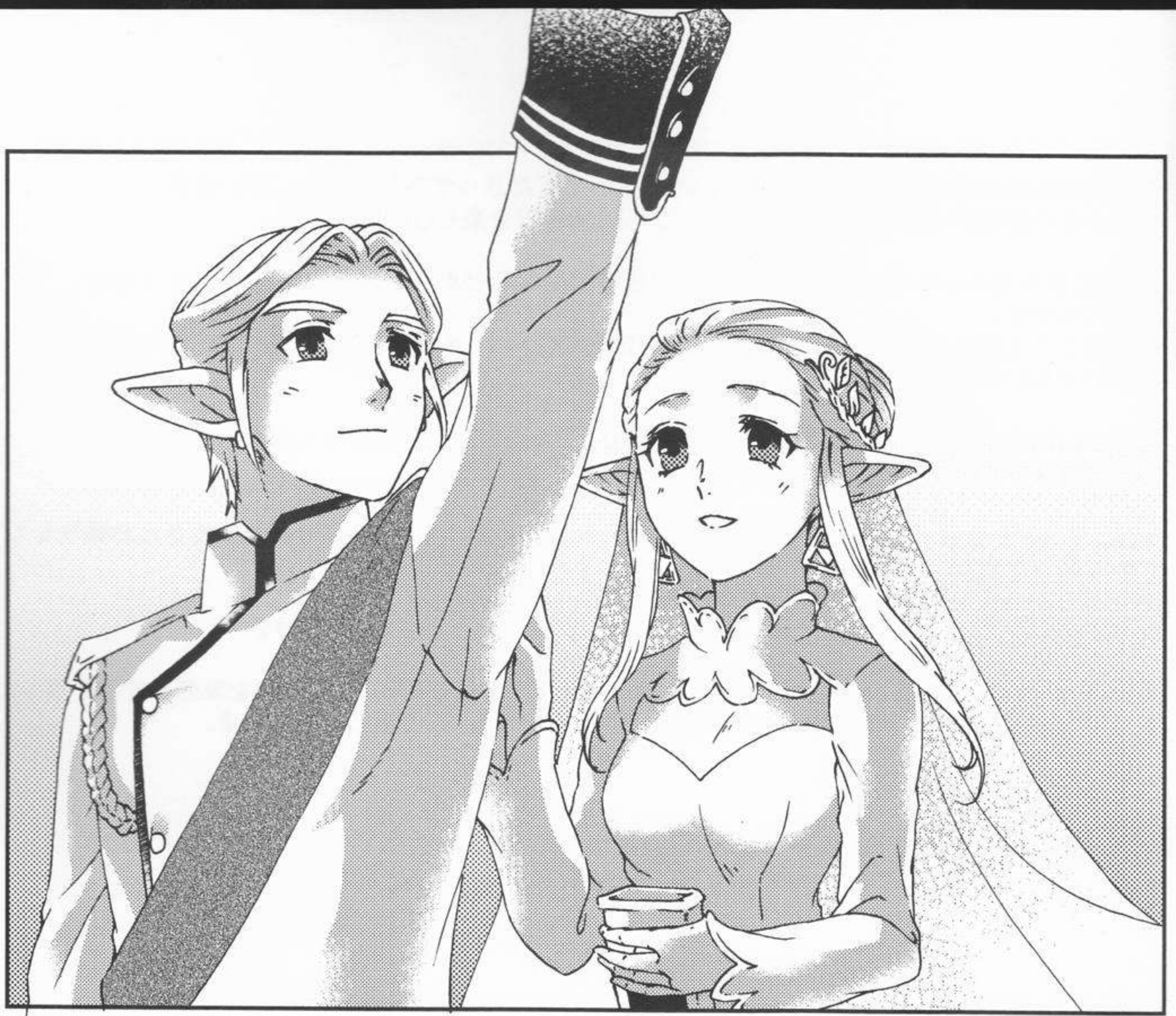


ごめん…子供みたいなワガママ言って。



…？





これは、ハイラルという王国に伝わる、
国を救った時の勇者と、時の賢者たる姫君の物語。
この国の繁栄と、泰平を願う天に掲げた剣はいつまでも光輝いたとい



この度はSadalmek(サダルメリク)をお手に取ってくださってありがとうございます。
タイトルの意味【Sadalmek(サダルメリク/星言葉:過程を楽しむ臨機応変)】

7年前に帰らなかったリンクと、共に7年後の世界を生きるゼルダ姫の、頭を空っぽにして読むスケベ本です。

本を描こうと思った時にはまだプロットすら出来ておらず、オチも作らず、何をするかも決めていないぐらい空っぽでした。(私が)

思いついたままにプロットを書いていたら自分でも想定しない明後日の方向のウルトラハッピーエンドになりました。

別誌、ゴメイザではアンハッピーな為登場させられなかったナビィにも、今回はたくさんお喋りして頂いております。

ナビィには可哀想な目にあって頂きたくないの…。

ナビィとゼルダ姫には良き友で居て欲しいという願望も詰め込んでおります。

7年後の世界で、二人がどのようにこれからの未来を歩んで行くのか、その一部を妄想して描きました。かつてないぐらい、リンクの背中とお尻をたくさん描いたなあ、と感じております。

This book is for Japan's domestic market.

The producer (of this product) assumes no responsibility whatsoever for any troubles, damages, etc., resulting from the use or possession of this product outside of Japan.

Please possess on your responsibility.

Moreover, unauthorized copying or use(upload) is strictly prohibited.

この本はゼルダの伝説を扱った個人制作のファンブックです。公式とは関係ありませんのでご注意ください。この本は日本市場向けに作りました。

これを海外で所持・利用する時に生じる全ての損害やトラブルなどに対し、制作者は一切の責任を負いません。

自己責任で所持して下さい。

なお、不正コピー・アップロードなどは厳禁です。

リンク x ゼルダ姫

Sadalmek(サダルメリク)

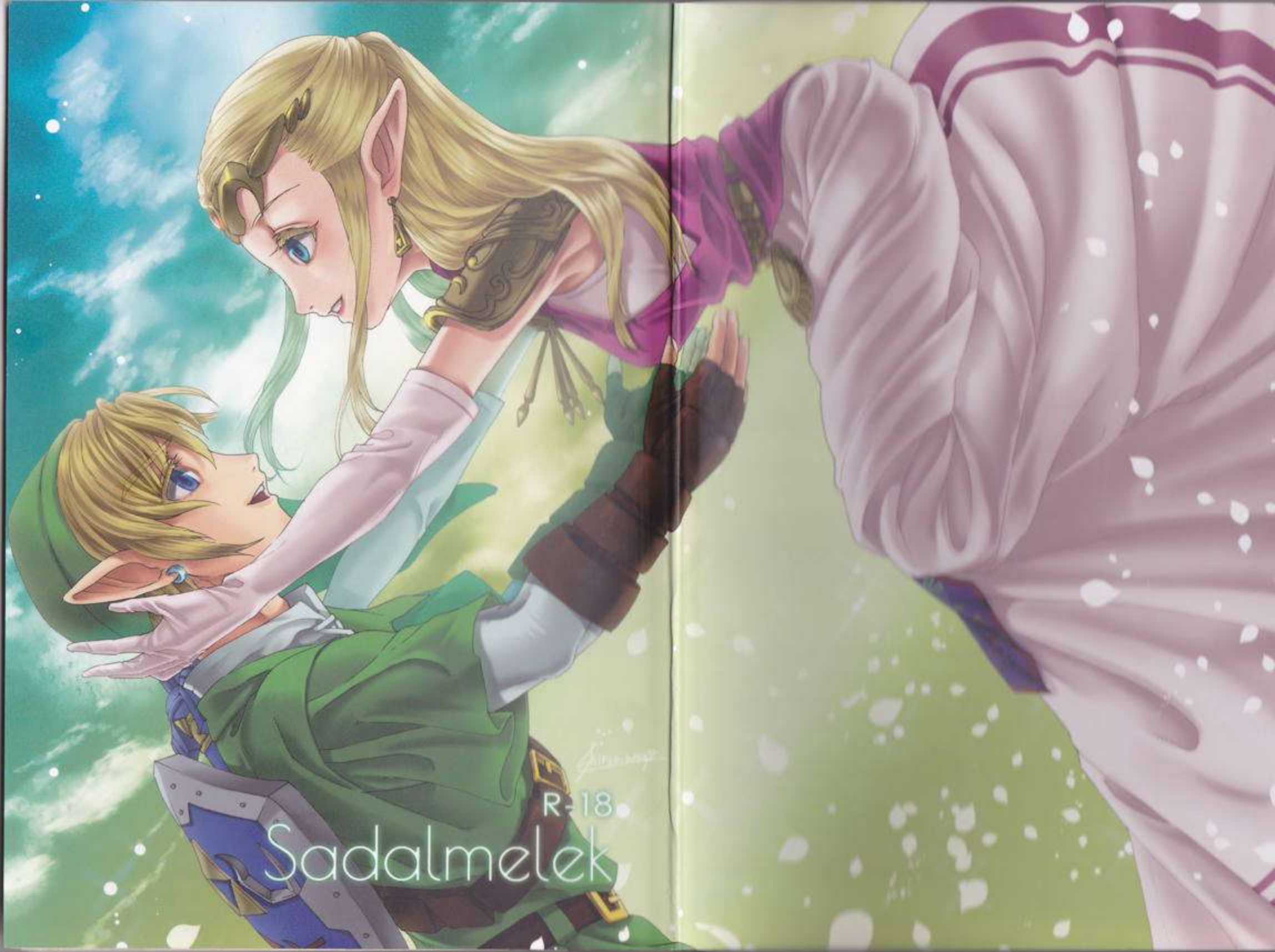
発行日 2019年3月31日

発行 白亜 卯蘭(しろあ うらん)

連絡先 twitter@x_hageyarou_x

https://pixiv.me/x_hageyarou_x

印刷所 ポプルス



R-18

Sadalmelek

